神呪のネクタール

しんじゅ

13

原作 吉野弘幸

漫画 佐藤健悦

Champion RED Comics

RED

吉野弘幸

　前巻で強引にお願いした新しい似顔絵、実はこれを書いてる時点では未見なのです。どんな風になってるのか、ドキドキ♡

佐藤健悦

　似顔絵はいつも緊張します…。いかがでしょう? 吉野さんの穏やかでいつもニコニコしてる感じが皆さんにも伝わるといいんですが。ついでに自画像のカットも新しくしました。…と言っても黒い塊から特に進化しておりません。早く一皮剥けてみたい。

[装幀] Rdesign studio

Champion RED Comics
RED

神呪のネクタール ⑬

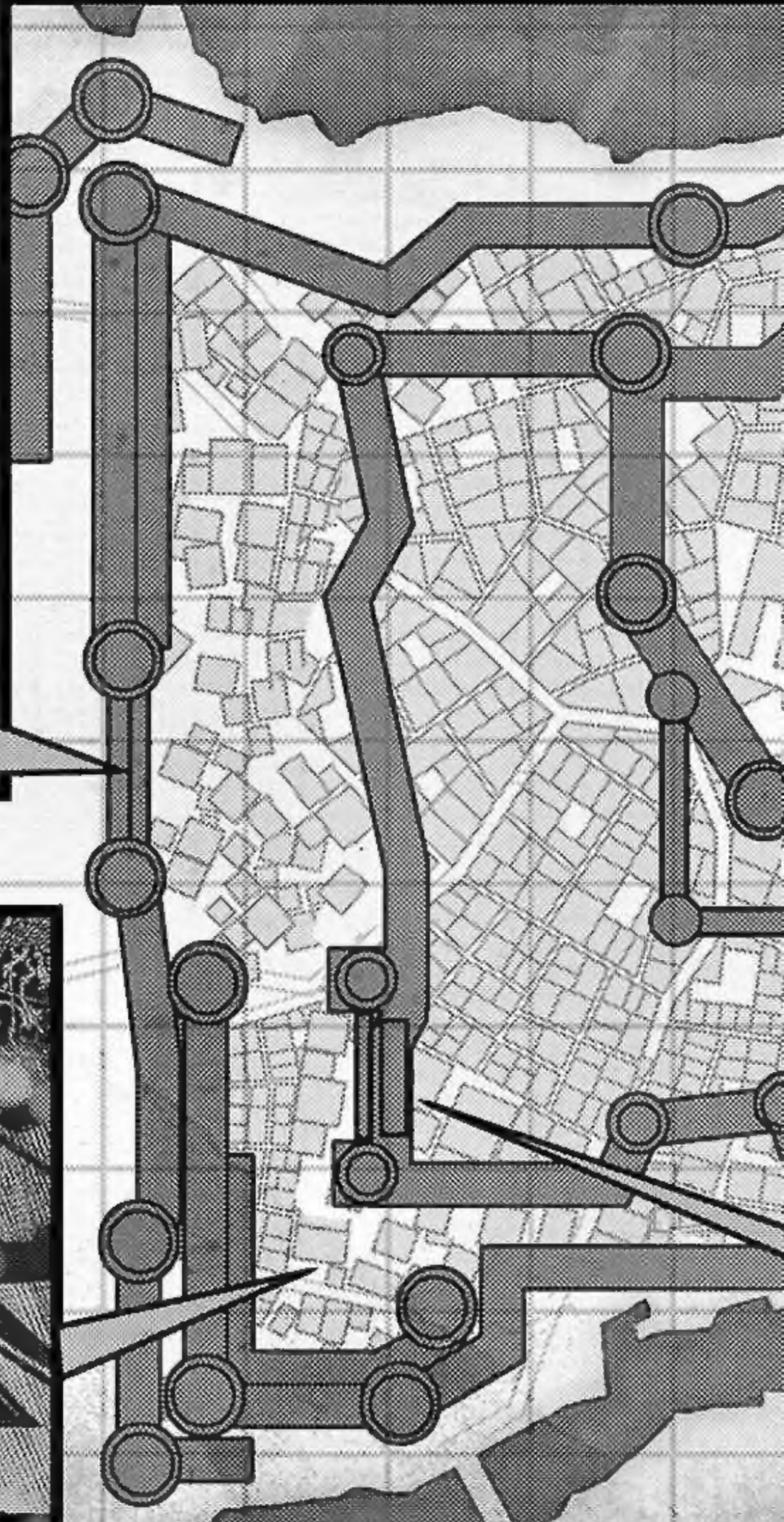
〈原作〉吉野弘幸 〈漫画〉佐藤健悦

前巻までのあらすじ

敵国・ダーラ共和国の勢力伸長を防ぐため、砂漠の国・シンシャール帝国を訪れたカイ。そこでは、抑圧されている遊牧民（ノマド）の不満が鬱積し、ついに暴動が発生した。遊牧民の族長のひとり・アルディアは暴動を率いるが、銃撃を受け記憶を失ってしまう。彼女の正体を知らぬまま出会ったカイは、シンシャール女王・ヤムリカに接触し、レザリア女王の親書を渡そうとするが…!?

第一城壁・城門

砂の民の聖地・パトナ

娼館“花嫁の館”

登場人物

カイ・ワタリ

異世界に召喚された“稀人(マレビト)”。“呪乳(ネクタール)”の力を得て、無敵の戦士に変身する。アルビオン軍人グレイの姿を借り、数々の軍功を立てる。

サクラ・シャクンティーラ・アドニエラ

ダーラ共和国に滅ぼされたアダール侯国の姫。乳房に神秘の力を宿す“神妃(アンブロシア)”。アダール再興を目指し、カイと行動を共にする。

アルディア

砂漠の遊牧民(ノマド)のザバル族を率いる族長。強く美しい女性。心ならずも遊牧民の暴動を率いるが、銃撃を受け記憶を失ってしまう。助けられた娼館でカイと出会い…!?

エドゥ・ビクトリアス

ダーラ共和国軍大尉。アルディアをはじめ遊牧民の族長たちに接近している。一方でヤムリカにも接触し、両勢力の狭間でダーラの勢力を伸ばすための陰謀を巡らせている…!

目次 CONTENTS

初出／チャンピオンRED2021年9月号～2022年2月号

第54話／虜囚の暗殺者

これはこれは…

面白い趣向じゃのう ダーラの

お気に召されたでしょうか？

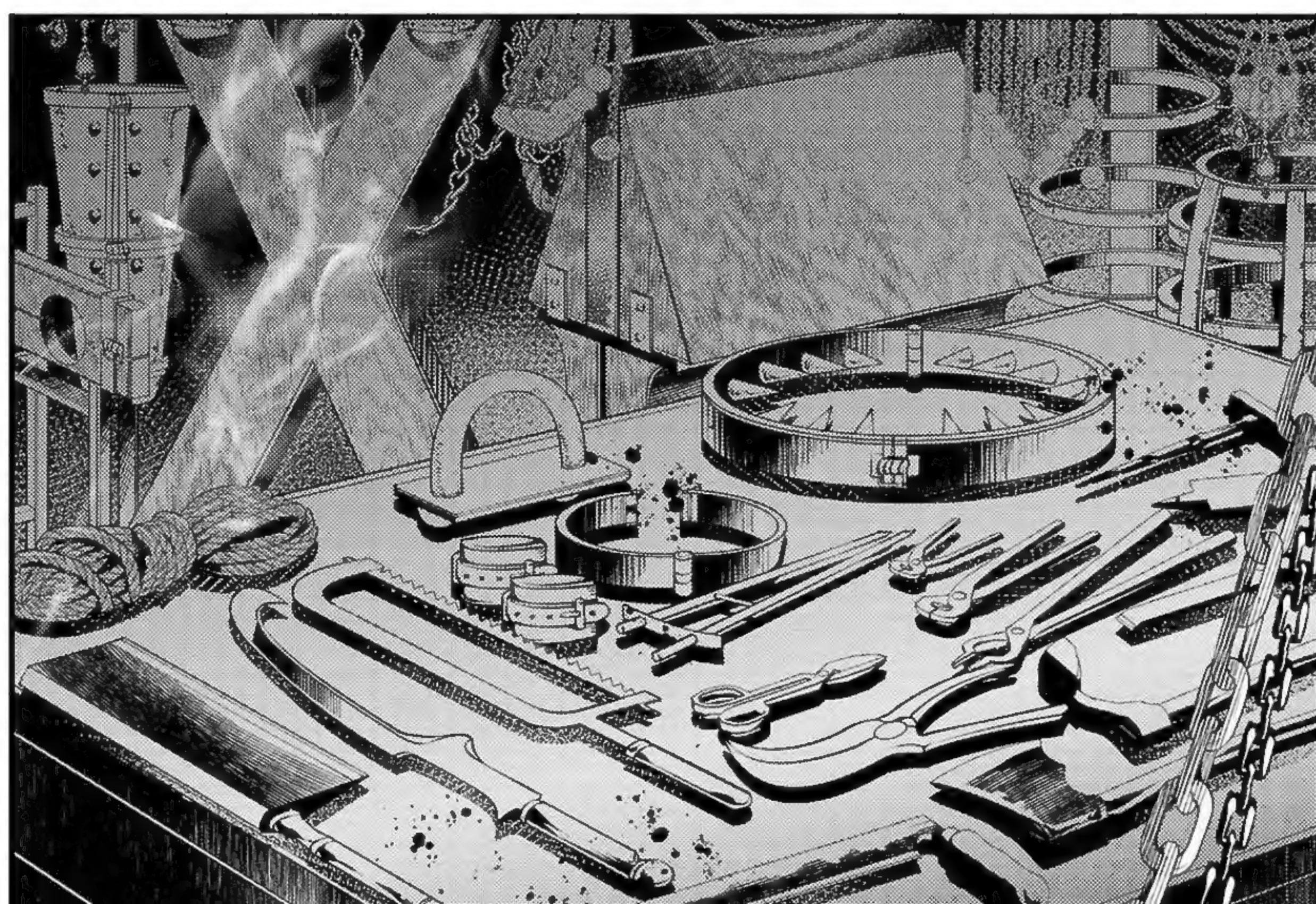
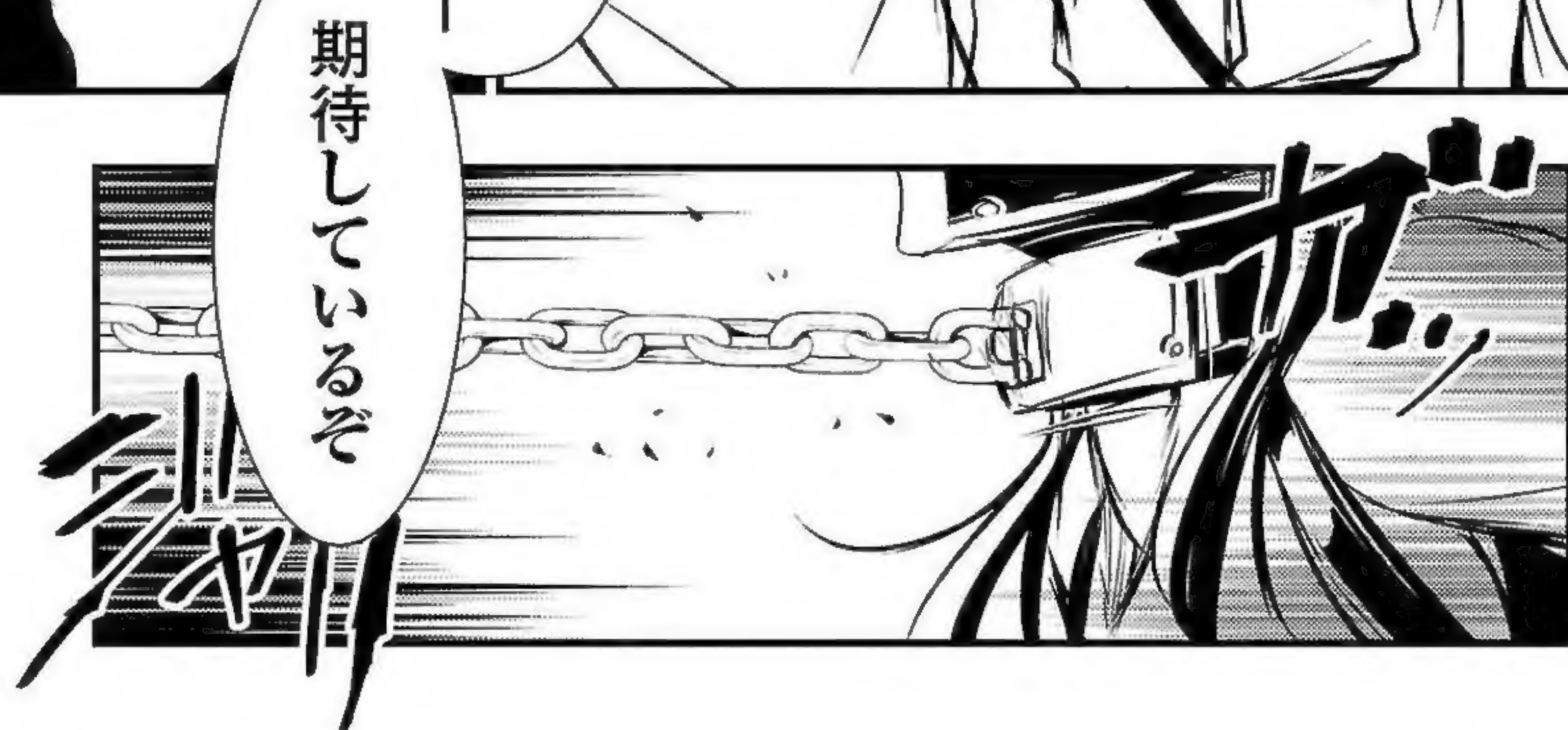
うむ ——早速 味見をしたい

連れて参れ

僭越ではありますが 陛下

交渉の件は…？

スク

そこな大臣共と
話すがいい
この男にも匹敵する
ような魅力的な話――
期待しているぞ
ガッ
ジャリ

ジャラララッ
ジャギギッ
おお…
これは美しい
鍛(きた)えられた鋼(はがね)…抜き身の刃(やいば)のようだ

そうであろ？

はい…

グイ

瞳には強烈な誇りと自信の輝き

これは折り甲斐がありそうですな

ゴドーよ これまで数多の人間の心を造り替えてきた貴様の手腕に期待する

妾の忠実な犬にしてみせろ

仰(おお)せのままに

手始めに軽く
まいりましょう

ーーハッ!!!

悲鳴一つあげぬ…
これは本当にやりがいがありそうです
強い男が耐える姿…
よいよいぞ!!
さあはやく妾に貴様の悲鳴を聞かせよ!!
至上の奏となるであろう…!!

結局
あまり実のある話し合いにはなりませんでしたね
フフ…
〃土産〃が効き過ぎたかな
しかしあのハサスの男…女王のおもちゃにされるまえに
それこそ我々の手で拷問にかけ
アルビオンの情報を引き出したいところでしたな
尋問と言いたまえ
これは失敬
考えないでもなかったが
口を割らせるのはかなり苦労したろうし
そうすればもう〃土産〃には使えないほど壊れていたろう
あれで正解だよ

それに
情報源なら
まだある

——彼には
連れがいたろう？

Z Z…

若い女の子を
尋問にかける
のは少々気が
引けるが——

国家のためだ
仕方ない

にじ…

く～

ピク

パ
誰っ!!
バ
ッ
ニアさん…
なんだ
トック君かあ
あたしに
夜這(よば)い?
十年早いぜ
よばっ…!!
違いますっ!!

逃げてください!!

!?

なにイキナリ?

さっき おれ見たんです ギルさんが…

えっ!?

ZZZ…

グー

あのテントだな

ソロ…

パサ

いない…!!
逃げたのか⁉
捜せっ!!
無事でニアさん…
……っ!!
タタタ…
奇妙な武器でギルさんが気絶させられて…
そのまま
運ばれて行ったんです

姫さまが行方不明になってから
あいつらあからさまに態度が変わって
……
最初から嫌な感じだったんですけどやっぱり信用しちゃいけなかったんだと思います
教えてくれてありがと
あんたはどうするの？
姫さまは絶対生きてます
だから見つかるまで
まだ連中のところに食いついてます
危ないよ？
……っ
大丈夫です
その…

十年後っ
本当に夜這いに
行きますから!!
そこまで絶対に
生き延びて
見せますっ!!!
ガキのくせに
まったく…
ひとまず
ダーラ兵が
うようよいる
城塞からは
出ないと――
みぃつけた
!!
ザッ
ズザ
タタ

なかなかすばしっこいね
君もハサスなのかな？
……!!
ザッ
ザッ
囲まれた…!!
あたしは違うよただ――
あんたみたいなタイプが嫌いだってのは
ギルと同じかも

それは残念だが――
ある意味ではありがたいかな
尋問のとき
良心が痛まなくて済むからね
ふん…拷問の間違いだろ
こうなったら
イチかバチかで獣化して突破を――

フワ
!!
ヒュオオオオ
!!?
ギャッ
ぎやっ!?
ぐあっ!!?

砂漠の夜は空気が冷えてとても気持ちが良いものです——

昼間の灼熱(しゃくねつ)が嘘のよう

シズナさん!?

報告にあったハサスの氷姫(グラキエス)か!?

撃てっ!!

!!?

させないよっ!!

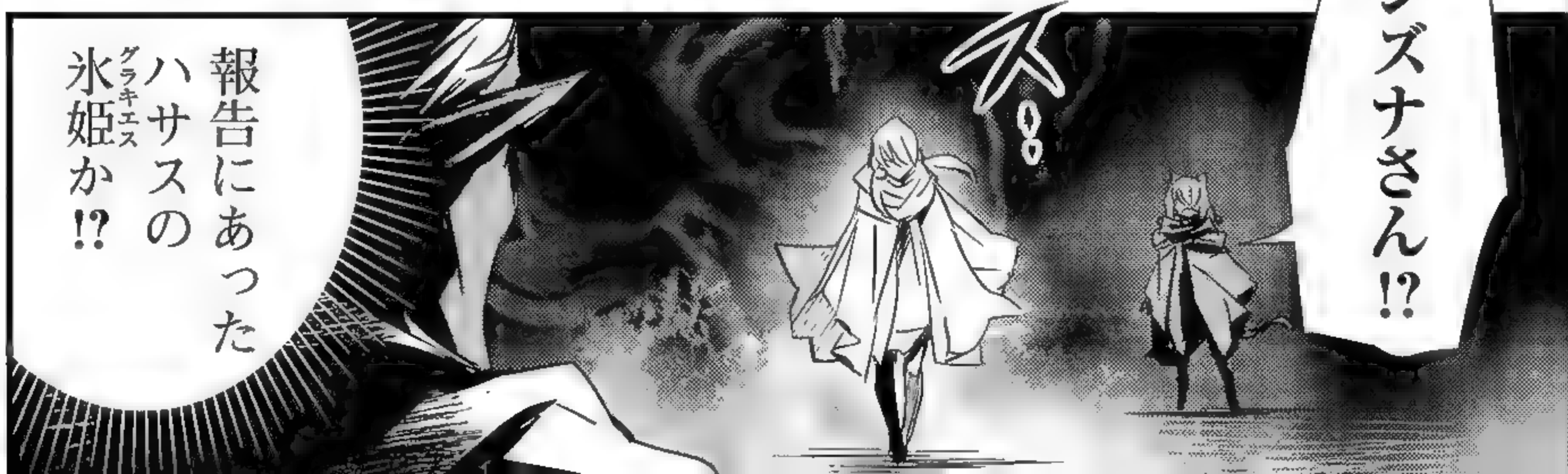
レンっ!!

ちいっ!!

バ!
ブッ
……っ!!!

――ッ!!

気をつけて!!
マレビトの武器を持ってる!!

ズザ
パリ
残念だ
君の仲間(ギル君)はひっかかってくれたのに
!!?
旦那様が……!?
何の騒ぎだ!?
!!

ダーラ兵だ
一旦退きましょう!!
ダッ
ニアさん旦那様は…!?
あとで詳しくいまは逃げよう
ダダ…
あとで聞いた話によると——
シズナさんとレンは僕らとはぐれたあと
河の対岸の町に潜伏して
僕らの行方と
先にこの国に潜入していたギルと連絡を取る手段を探っていたらしい

でも
ツテを辿っても
ギルや僕らの
消息はわからず――

城壁内への
侵入を決意

しかし
踏み込んだ
途端にニアと
遭遇し
すぐに引き返す
ハメになったらしい

ネーヤ
そっち持って
くれる？

うん!!

一方
こっちは
そんなこととは
つゆ知らず――

おれたちは
おれたちで
シズナさんたちの
行方やギルとの
接触手段
任務の達成手段を
探っていた
魚を捌いて
改めて知る
日本の包丁の
優秀さよ…っと
こんどガランドアで
出刃作ってもらお
──とはいえ
空振り続き
だったけれど
おう
新入りの
にーちゃん

足りねえ材料がある
買い出し頼めるか？

はーい

市場（バザール）へのお使い

ザッ

悪いね

紹介した元役人
ほとんど役に立たなかったんだろ？

ポリ

なのに仕事だけさせちまって

……

そりゃ正面からいかなくて正解だ

下っ端の官吏はみんな自分の手柄を欲しがってる

上の人間に取り次ぐ前に

拷問にかけられて情報だけ引っ張り出されて闇から闇——さ

あんたがもしどっかの国の使いだとしてもね

ゴクッ

ふつうのやり方じゃまずいってのがわかっただけでも有り難いですよ

料理はもともと好きですしね

昔取った杵柄ってヤツで

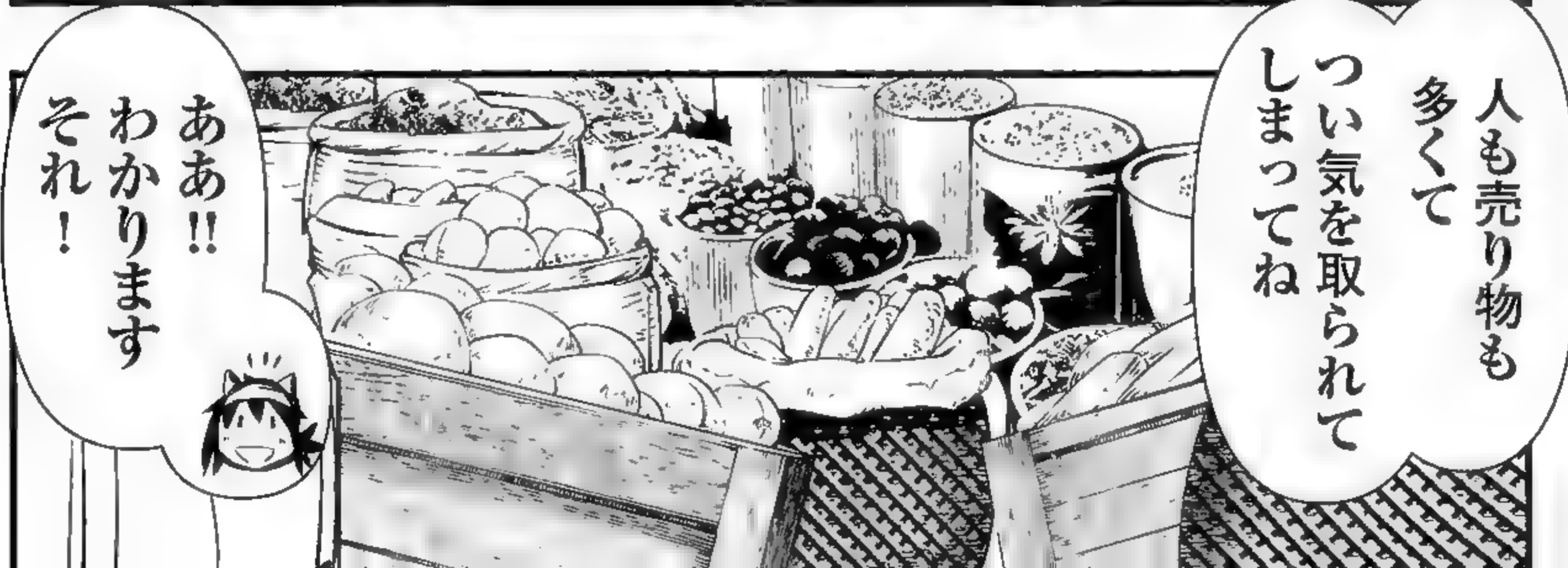
コトコト

有り難いよ
あんたの作る賄いは美味しいしね
そう言って貰えると作り甲斐があります
ガヤ
市場
とは言ったものの――
ガヤ
おい これっぽっちでこの値段か？
ガラ…ッ
仕方ないだろ 戦争中なんだぞ？

売り物があるだけ
マシだと思ってくれよ
ったく…
さすがに物資は
いろいろ厳しく
なってきてるな…
!!!
ドン
っ
すみません!!
いや
こちらこそ

ダーラ軍人…!!!

第55話／美味の探求

すっ すみません 軍人さん!!
いや ぶつかったのは 私がよそ見を していたせいだ
人も売り物も 多くて つい気を取られて しまってね
ああ!! わかります それ!

ランドルールではこんなに賑わう市場は見かけませんからね
これでも戦争でかなり品数は減ってるそうですよ!
これでかね なるほど…
ふーむ
――ってダーラの将校と何なごやかにお話ししてるんだおれ!!
いや さる人物に珍しくて旨い料理を所望されて
こうして市場に来たものの――
私自身は食べる専門で材料を見ても何がなにやら…

途方にくれていたのだよ

ああ
珍しい料理なら
ウチの店に
来て下されば
何か出せると
思いま——

——って
誘ってどうする!!

ほう…!!

キラン

結局
店を教え
ちゃったよ…

バタン

ふぃー。

これも何かの
縁だ
必ず寄らせて
もらうよ

押しの強さに負けちゃったけど

ハァ〜…

できればダーラの軍人とかにはお近づきになりたくなかった…

どうしたの？

ひょこ

ドキン
いや　その別に何も――
ちょこん
そう？　ならいいけど…
気になるよね　ネーヤ？

別に気にしてないよ
ネーヤはシエラ姉さまが気にするから気になるだけ!!
…懐かれたねぇシエラ姉様・・
あは…うん
ぴたっ
でも可愛いから
よしよし
お世話するの楽しいよ
ゴロゴロ
嬉しい
ネーヤもシエラ姉さまのこと大好きだよ!!

くるるぅぅ…

そういえばそろそろ食事の時間だね

待ってて今日の賄(まかな)い当番はおれなんだ

！

ならあれがいいよねネーヤこの前食べた――

はんばぐ!!

〝ハンバーグ〟か

了解

タン

ハンバーグ

…言わずと知れたみんな大好きお肉メニュー

わー!!

こちらにも肉をタルタルにして焼くシンプルなハンバーグは存在したが――

タン タン タン

日本人のふわっふわハンバーグにかける執念をナメてもらっちゃ困る!!

タタタタ

様々なつなぎやスパイスを入れて

どんな肉でも美味しく柔らかに食べられるようにするのが――

トトトトッ

こね

こね

日本式ハンバーグでぃ!!!
ぺぃ
ジュワァア
あがったよ！
二人の好きな
羊と魚の
ハンバーグ!!
ゴッ
わーー!!!

ジュワ〜

はわぁ〜

はむん

ん〜〜〜!!

お魚入ってるのぜんぜん気にならない!!

お肉の汁がじゅわってしてふわっふわ!!

うん!!

不思議だよね

カイのハンバーグだと苦手なお肉も食べられちゃう

二人のために考えた料理だからね!!

フフン

そう——魚が主食のネレイア出身のシエラは肉全般が苦手で

遊牧民（ノマド）出身と
思われるネーヤは
魚が苦手

そこで
苦肉の策として
編み出したのが

シャレじゃないよ

二人が楽しめる
羊肉と魚肉の
合い挽き（び）ハンバーグ!!!

――まあ　これには

戦争のせいで
材料が不足がち
なのを補（おぎな）うっていう
実際的な意味合い
もあるんだけど
――

うん
我ながら
良く出来てる

タルガの実（スパイス）が
いい仕事してる!!

そう
クセがあって
ケンカしそうな
羊と青魚を

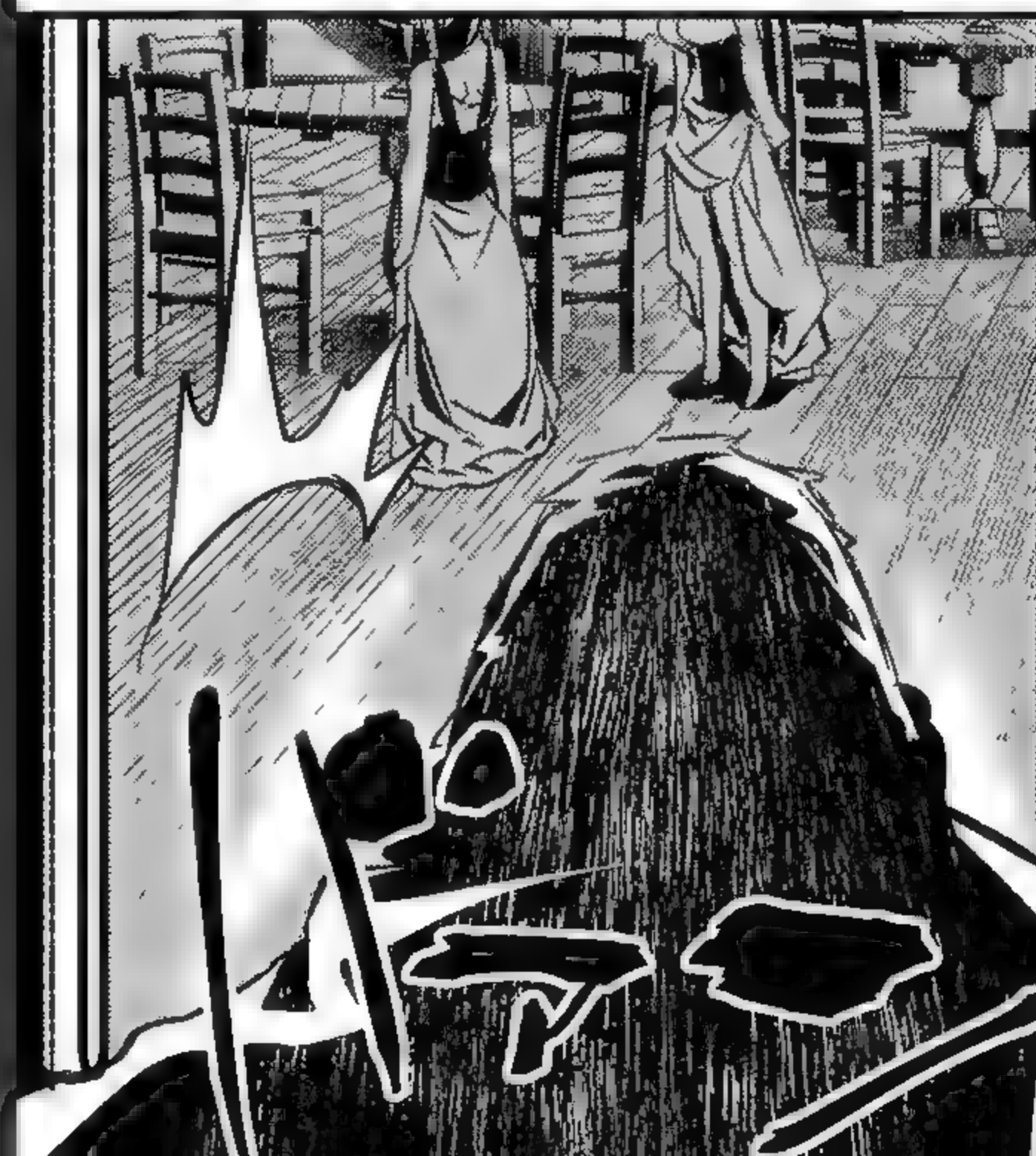
この地方の料理に
よく用いられる
タルガという
スパイスが

見事にまとめ
上げてくれる
のだ!!

あら
賄い？

はい
今日は
おれが当番で

わ♡
その
ひき肉まるめて
焼いたの好き!!

タネは用意して
ありますから
すぐできますよ
ちょっと待ってて
下さい

ミュラはいるかあ～ッ!!!
ヒック
ミュラを出せよっ!!
俺の花嫁っ!!
聞こえたか!!?
ベッツさんが女をご所望だ!!
ギャアア
ハー
……
なんだ? よっぱらい……?
ち…戦争で街のチンピラ共も気が立ってやがるか

ベッツ!!
言ったろ
ミュラは足を
洗ったんだ
ここには
いないんだよ!!
嘘だっ!!!
ダァン
俺はミュラと
何度もケッコン
したんだぞ!!
シュウウウ
ミュラだって
俺のこと
愛してるって
言ってくれた!!

それがあたしらの仕事だからね

ミュラはおまえたちとは違うっ!!

ぜ ぜったい本気だった!!

そうだ!!

ミュラを出さないならこっちも考えがあるぞ!!!

痛っ

放して!!

ガしっ

うるせえ

放して欲しかったらミュラを——

汚い手で姉さまにさわるなっ!!!

てめェ

がっ…!!!

……!!
ガラ
きょと
……あれ？
テメエ なにしやがる!!!
グァ
びくっ
きゃあっ!!
いい加減にしやがれ このチンピラ共がっ!!
コック長!!
ゴッ
くそっ やっちまえ!!!
ダダッ

ドガガ
バゴ
ドドタタタ
上に避難して!!
ガガカカ
ネーヤを頼みます!!
ワァァ
コックは用心棒代わりだってのは聞いてたけど――
いくらコック長が強くても多勢に無勢にも程がある!!
ドゴ…
カイ!!
ザ

ワァア…
シエラ こっちに!!
タタ…
ごめん こうなったら
みんなが 怪我(けが)する前に
〝力〟を使って 事態を収める しかなさそうだ
力…
わかったわ

来てカイ

ありがとうシエラ――

喧嘩沙汰はこの店か!?

突入するぞ!!
気を抜くなよ!!

……何をしてるんだ　君ら？

きゃあっ!!

こっ　これは　その――

――って君は先程市場で会った…

!!

さっきの軍人さん!?

ビクトリアスだ
——治安維持のために
喧嘩ときいてきた
この場は我々が
治める
何をしている!!
早く突入して
混乱を収拾しろ!!
ダダ
はっ!!
娼館と聞いては
いたが…乳繰り合う
のはせめて
落ち着いて
からにしたまえ
はい…
ゾロ
ゾロ
なるほど
あなた方は
言いがかりを
付けられた
完全な被害者
のようだ

災難でしたね

へっ!!

あんたらが来るのがもう少し遅けりゃ全員ノシてたのに

強がるんじゃないよ

そーよ

ピト

痛ッ

ネーヤは？

上で休んでる

さっきの件で少し混乱してるみたいだから

ありがとね軍人さん
おかげで店の調度が少し壊れたくらいで済んだよ
今日も店を開けられそうだ
よかったら今度遊びにきておくれよ
お礼にサービスするからさ
ほう
そういえば ここは珍しくて美味しい料理を食べさせるそうだね？
珍しい…？
ああ カイが作る料理のことだね
確かに美味しいよ 初めて見る料理ばかりだけど
ギクッ

ほほう

ではひとつ
それをご馳走に
なれないかな

カイくん

待って下さい!!

材料もないし
すぐには用意
なんて
できませんよ!!

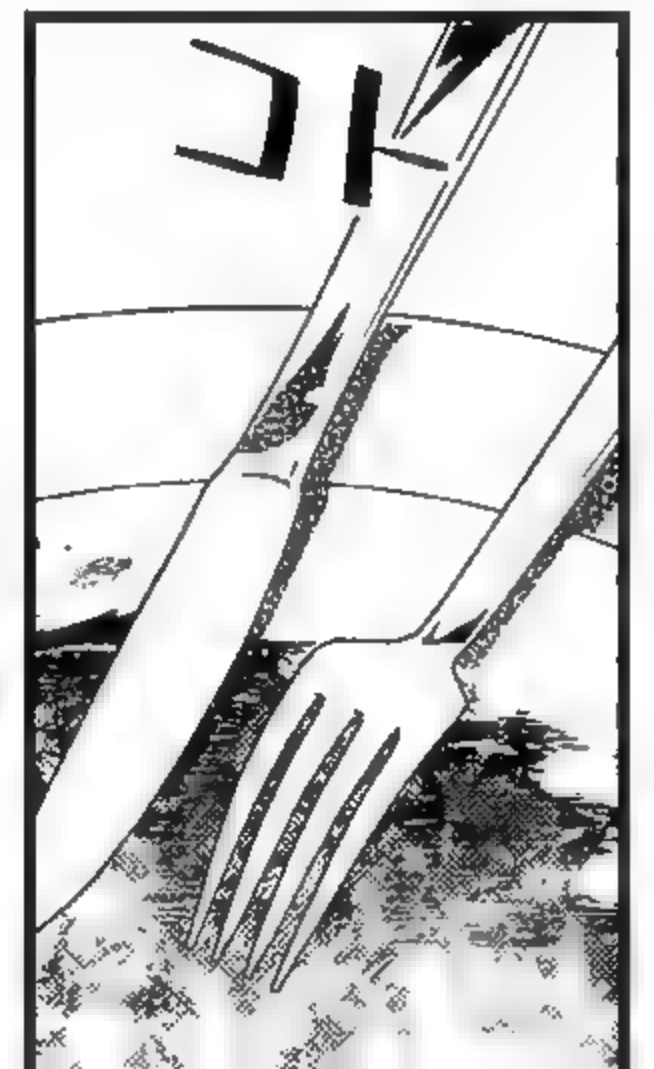
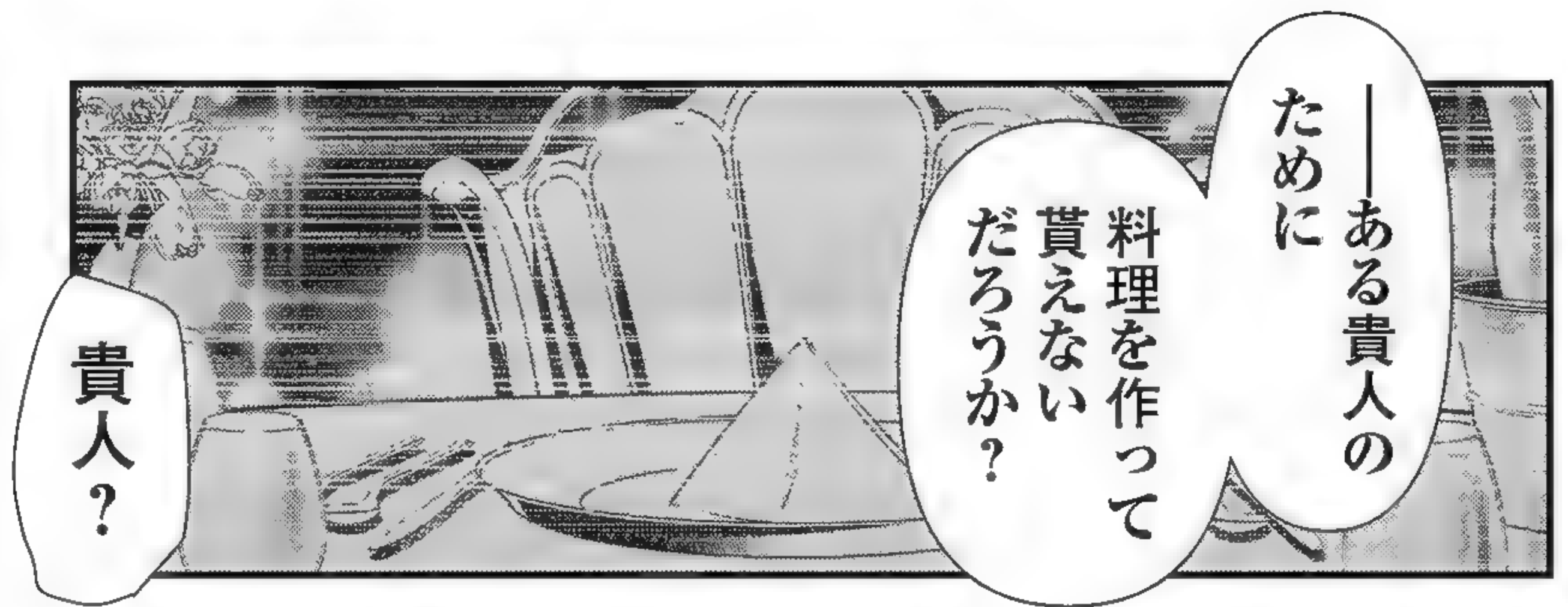
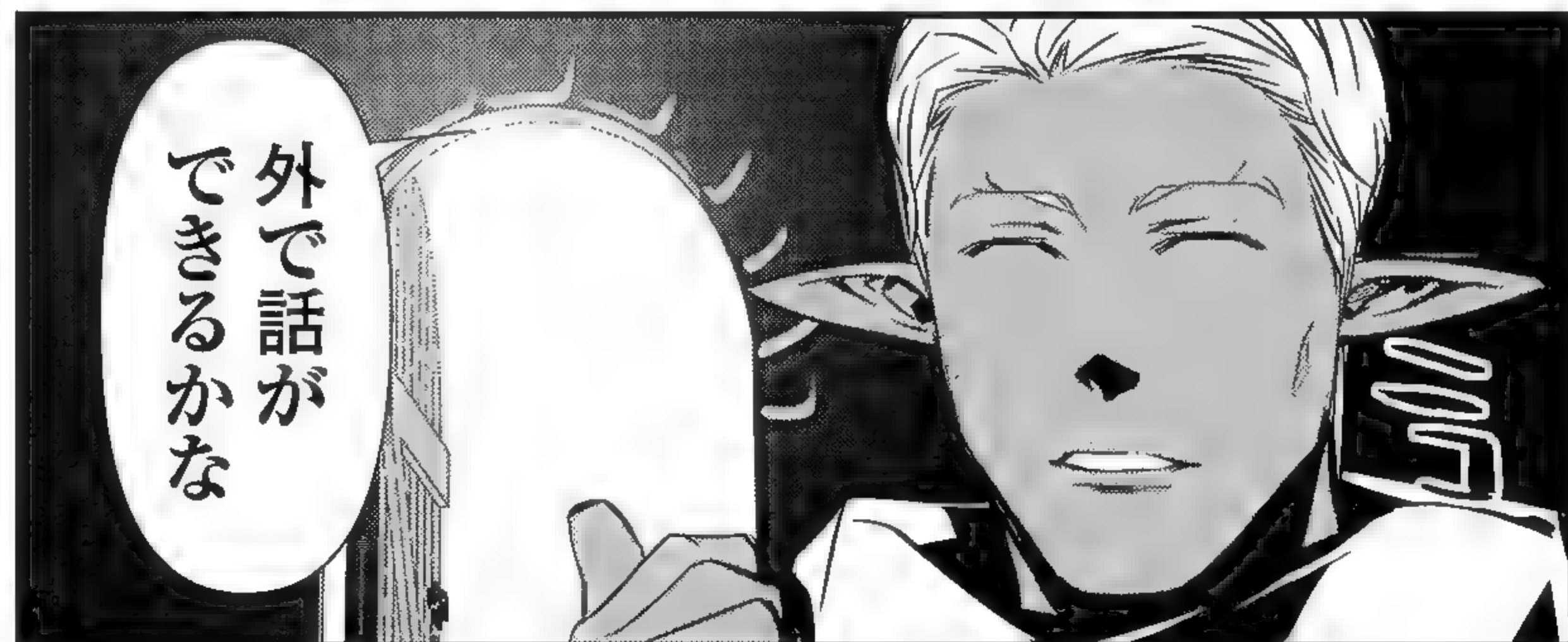
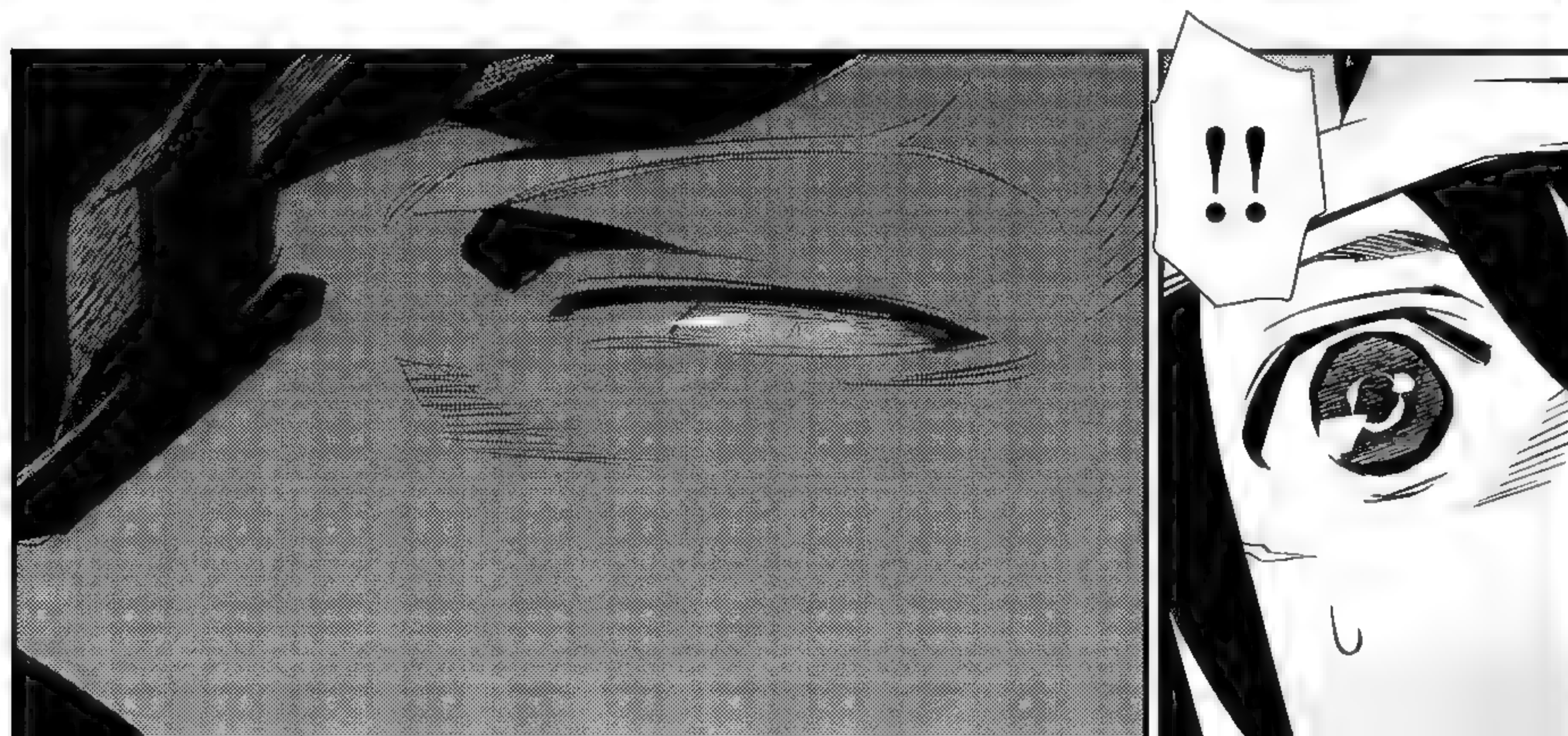
賄いが
用意してあったろ

あれ
出しておやりよ

でも——

ニコ

コックで無傷なの
アンタだけなんだ
働いてもらうよ

はい…

コト

そろ…

あの
いかがでした…？

驚いた…

まさかここまで
美味いとはな!!

素晴らしいよ
カイくん!!

他にも
このハンバーグの
ような珍しいメニューは
あるのかね!?

いっぱい
あるよ!!

カイのご飯は
ほんと美味しぃん
だから!!

よかった

ではその腕前を
見込んで
キミに内々で
頼みたい
ことがある

ガッ

――ある貴人のために
料理を作って貰えないだろうか？
貴人？
って…？
これは極秘事項だが
このシンシャールを支配するお方…
ボソ

ヤムリカ女王陛下だ

!!!

第56話／王宮への道

ヤム…リカ…!?

外で話ができるかな

あの…っ なんでヤムリカ女王に!?

ダーラは遊牧民（ノマド）と結んでシンシャールを倒そうとしているんですよね!?

もちろん
そのつもり
――だった・・・・よ
なら
どうして――
悪いが
君に求めるのは
理解じゃない
イエスかノーかの
返事だけだ
!!

は――……

……これ断ったら殺されるヤッですよね

察しがよくて助かるよ

ただ――

ヤムリカ女王は大変気難しい方だ

ポン

機嫌を損ねた場合もキミの首は飛ぶだろう

うぐ…

その覚悟で頼む

クッ

ひとつだけお願いがあります

…その場合でも
僕の恋人と
娼館の人たちの
安全を保証して
ください
契約成立だ
謁見は5日後
それまでに
メニューを決めて
くれ
──承知しました
……

どっさり
すご〜い!!
いま市場で手に入る限りの材料を仕入れてきたんだ
前金ももらったしし
受けるのねダーラの依頼
うんようやく王宮に接触できる機会が向こうから転がり込んできたからね
出来ることがあったら言って

わたし
カイの為なら
何でもするから

ギュ

ありがとう

む〜〜…

ドタダタ

ふたりでコソコソするのダメ!!!

むぎ〜〜
ネーヤも一緒にして!!
ごめんごめん
フー
そうだネーヤ
いまからこの材料を使っていろんなメニューを試作するから
食べてくれるかな
どれが好きか教えてよ
はっ
ほんと!?
ピコン
いくらお料理上手でも強くないヒトにはシエラねーさまはあげないいんだから
サッ
きびしいなあ

非力なおれはせいぜい料理で頑張るよ
出来たら呼ぶから待ってて
うん じゃあそれまでお風呂入ろっか
うん!!
砂漠の国であるシンシャールには
毎日入浴する習慣はほとんどないのだが——
この〝花嫁の館〟は
ぬぎ
娼館だけあって花嫁たちが毎日入れるお風呂がある
ニュル

これは水と共に
生きるネレイデス
であるシエラに
とって
とても
ありがたい
ことらしい

ねーさま
行こ♡

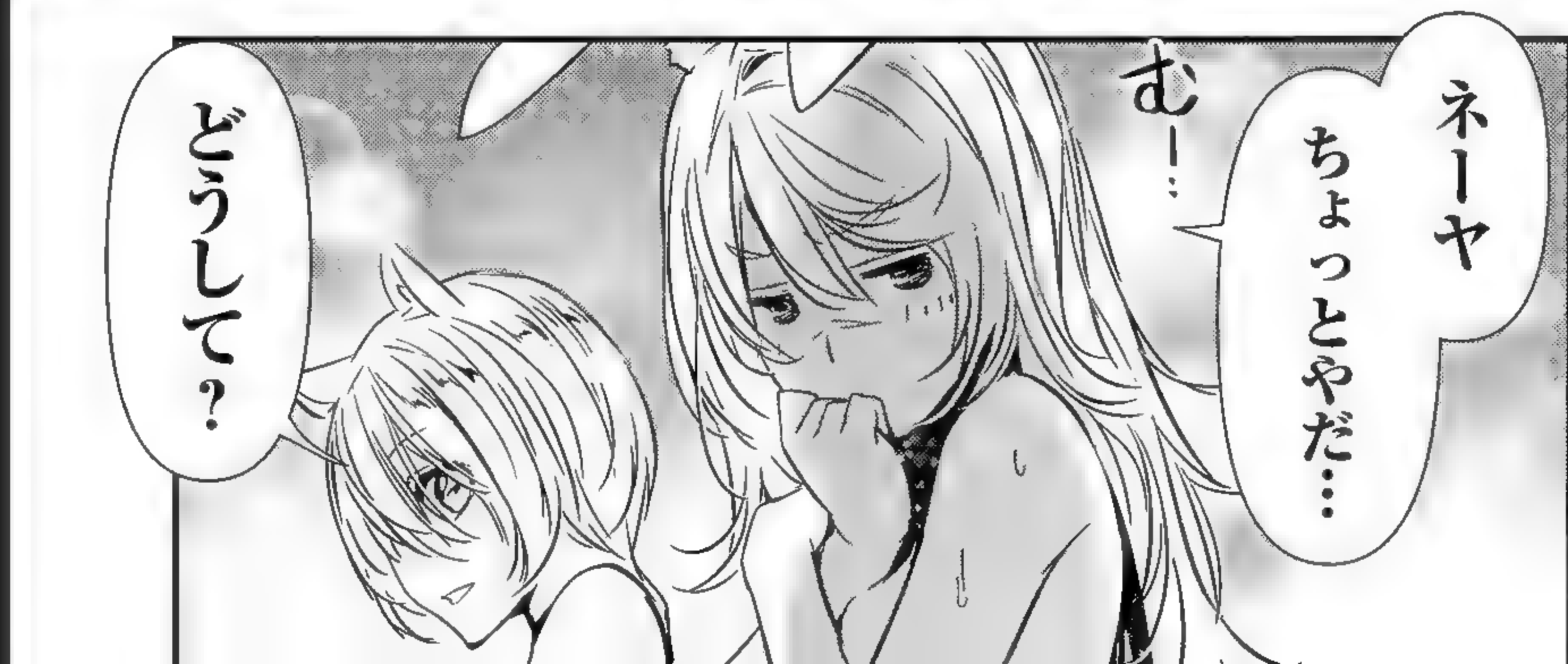
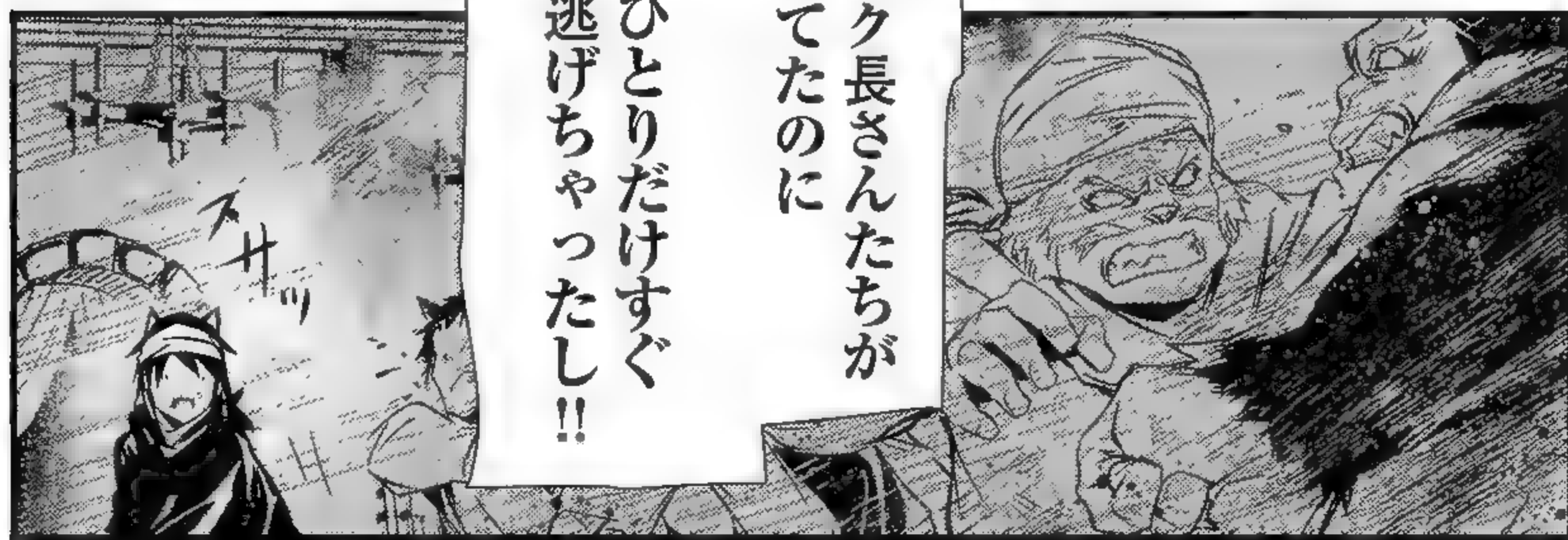
うん

プロ用(?)だけあって
造り物の耳と尻尾は
お風呂に入っても
問題無く――

はい
目つむってー
ざばぁ～

彼女たちは毎日お風呂を楽しんでいるというわけだ

ぶるるん

つぎはネーヤがねーさまの背中ながしてあげる
じゃあお願いしようかな
ねーさまカイのこと好き？
うん好きよ
いつかカイの子供を産みたいって
そう思ってる
ネーヤちょっとやだ…
むー…
どうして？

だってカイ
弱虫だもん!!
きのうだって
コック長さんたちが
戦ってたのに
ひとりだけすぐ
逃げちゃったし!!
ズサッ
あれは…

ねえ
なんでシエラねーさまはカイが好きなの？
………
ネーヤ強さってなんだと思う？
敵をぶったおす!!
そうねでも…

カイを見てると

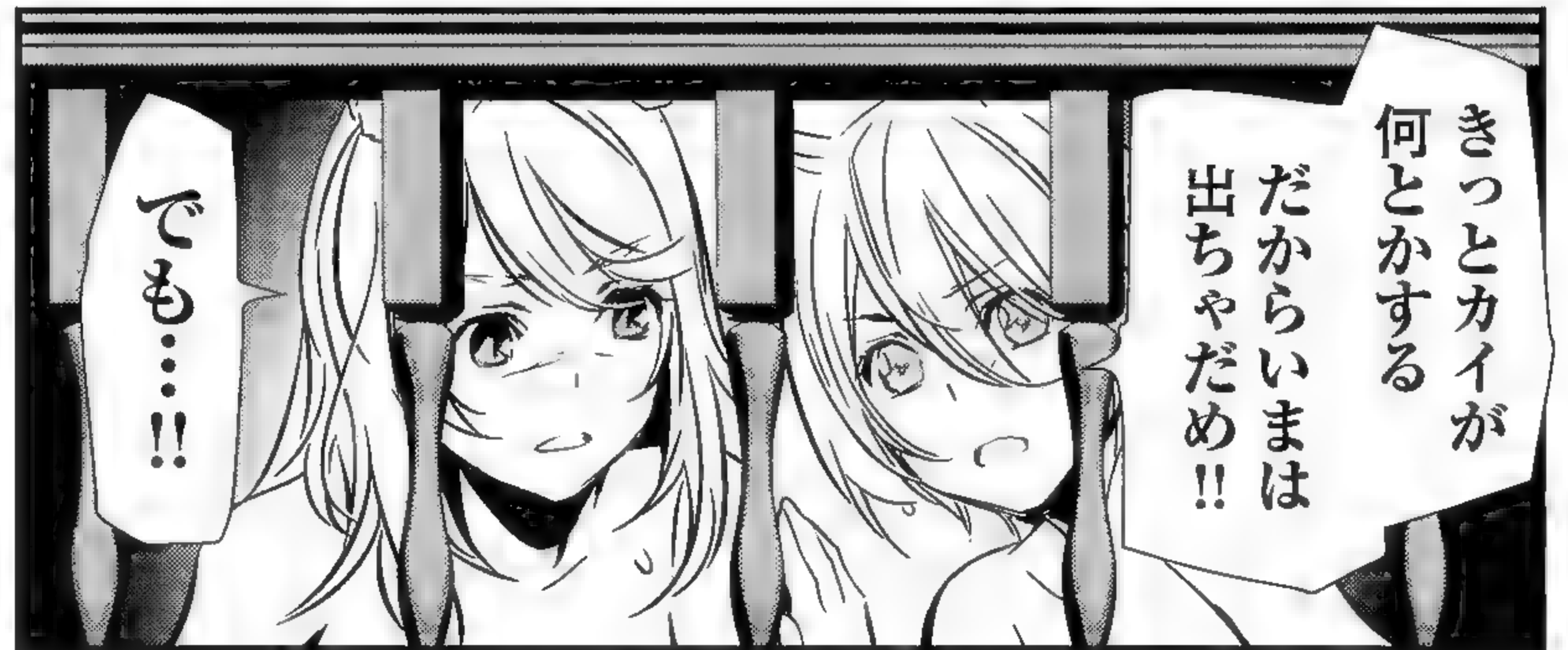
強さってそういうことだけじゃないなって思うの

……？

!!?

ダーラに手を貸す料理人というのはお前か!!
ギク
えっと…なんのことでしょう？
コイツで間違いないんだな？
うん ビクトリアスがコソコソ何か頼んでた ヤムリカって名前も聞こえた
……!!
君たちは遊牧民（ノマド）だね？
ああ
俺はザバル族 サルヴァの息子 カシムだ!!

ダーラは
何を頼んだ!!?
お前に
ヤツらは俺たちを
裏切っているのか⁉
……
何を頼んだ
……か
つまり彼らは
ビクトリアスの
依頼内容までは
把握していない
……
どうする？
あくまで
トボケとおすか
認めた上で
嘘をつくか…!!

ネーヤ
あいつら
やっつける!!
ダッ
だめ!!
きっとカイが
何とかする
だからいまは
出ちゃだめ!!
でも…!!
信じて
きっと
大丈夫だから…
……っ
だけど
どうするつもりなんだ
アイツ…

そうだ
——君らが疑う通り ダーラは王宮との交渉を持とうとしている
!!!
おれはその交渉を円滑にするための料理を提供するよう言われた
やっぱりだ!! アイツらなんか信じちゃいけなかったんだよ!!
ああ
アルディア様が最初から言っていた通りだったよ

アイツらいつも
調子のいいこと
ばかり言いやがって
こうなったら——

こうなったら
——どうするん
だい？

決まってる
裏切り者は討つ!!

!!!

それは駄目だ

ダーラ軍は強い
数も君たち遊牧民（ノマド）
より多い

いま袂(たもと)を分かったら

この逃げ場のない城壁内で君たちは虐殺されて終わりだ

黙れ!!

コックごときに何がわかる!!

コックだから

だよ

料理人は腕があればどこでも仕事がある

……っ

――僕はこの街に来るまで
世界中を旅して様々な国や民族の争いを見てきた
だからわかる
いかにいま君たちが危険か
……っ!!
そもそも君たちは想定しておくべきだったんだ
ダーラが王宮と結ぶ可能性を
グ…

当初の予定では

ダーラは君たちと結んでバルアラを一気に攻め落とし

自分たちに都合のいい遊牧民王朝を建てるつもりだったんだろう

だが奇襲に失敗し籠城戦になったことで

状況が変わった

このまま膠着状態が続けば

周辺諸国や——それこそ

アルビオンの介入をまねきかねず

ダーラとしてはそうなる前に

なんとしても決着をつけたい…

ダーラが欲しいのは
海峡の通行権と
通商の自由

グッ

それが
得られるのなら
相手は遊牧民(ノマド)
でも現政府でも
構わないのさ
——

それが
国際政治の理論だ

なら…
どうしろと
言うんだ!!

裏切られるのを
黙って見てろと!!?

おれを使え

そんな…どうやって⁉

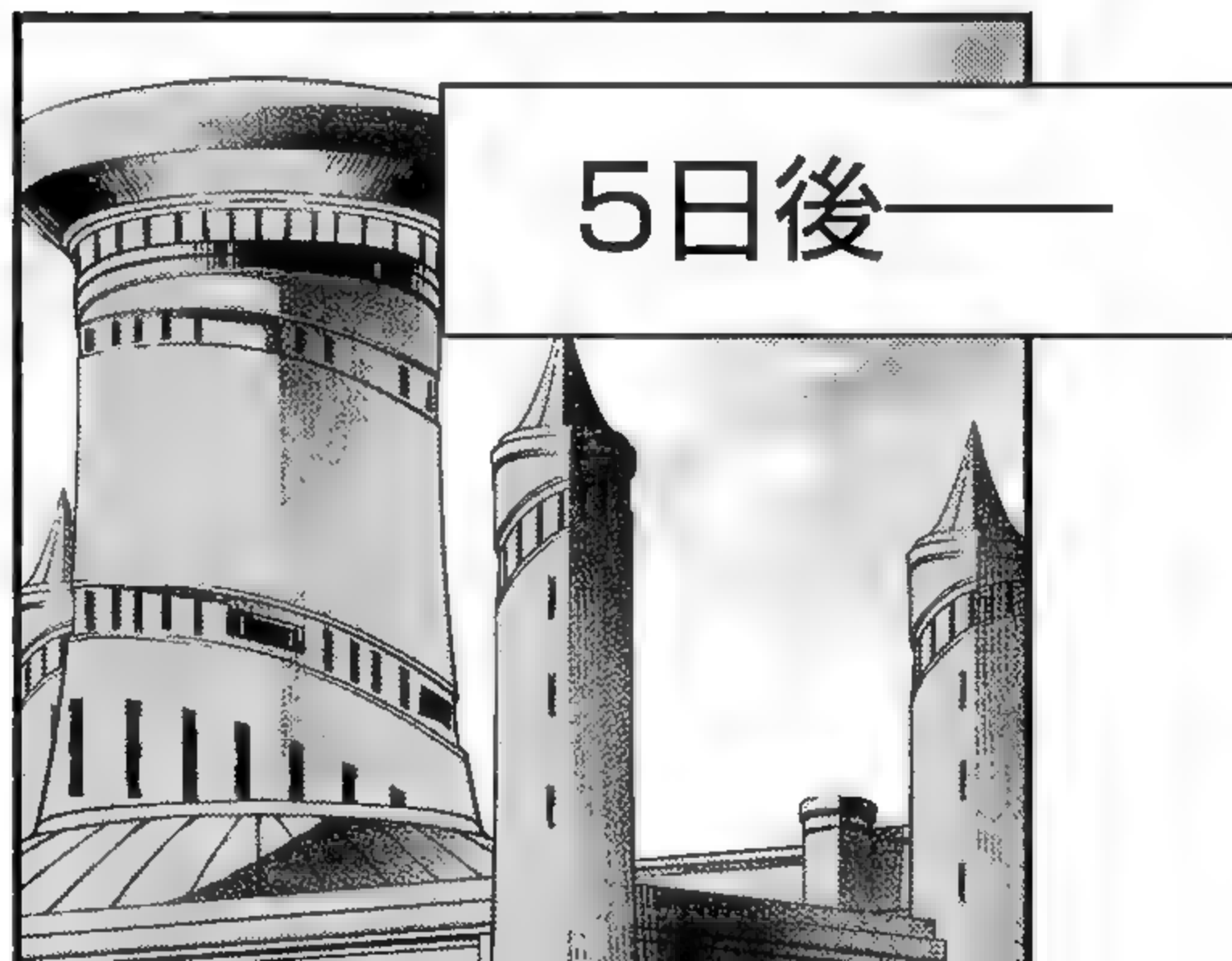
ニコ

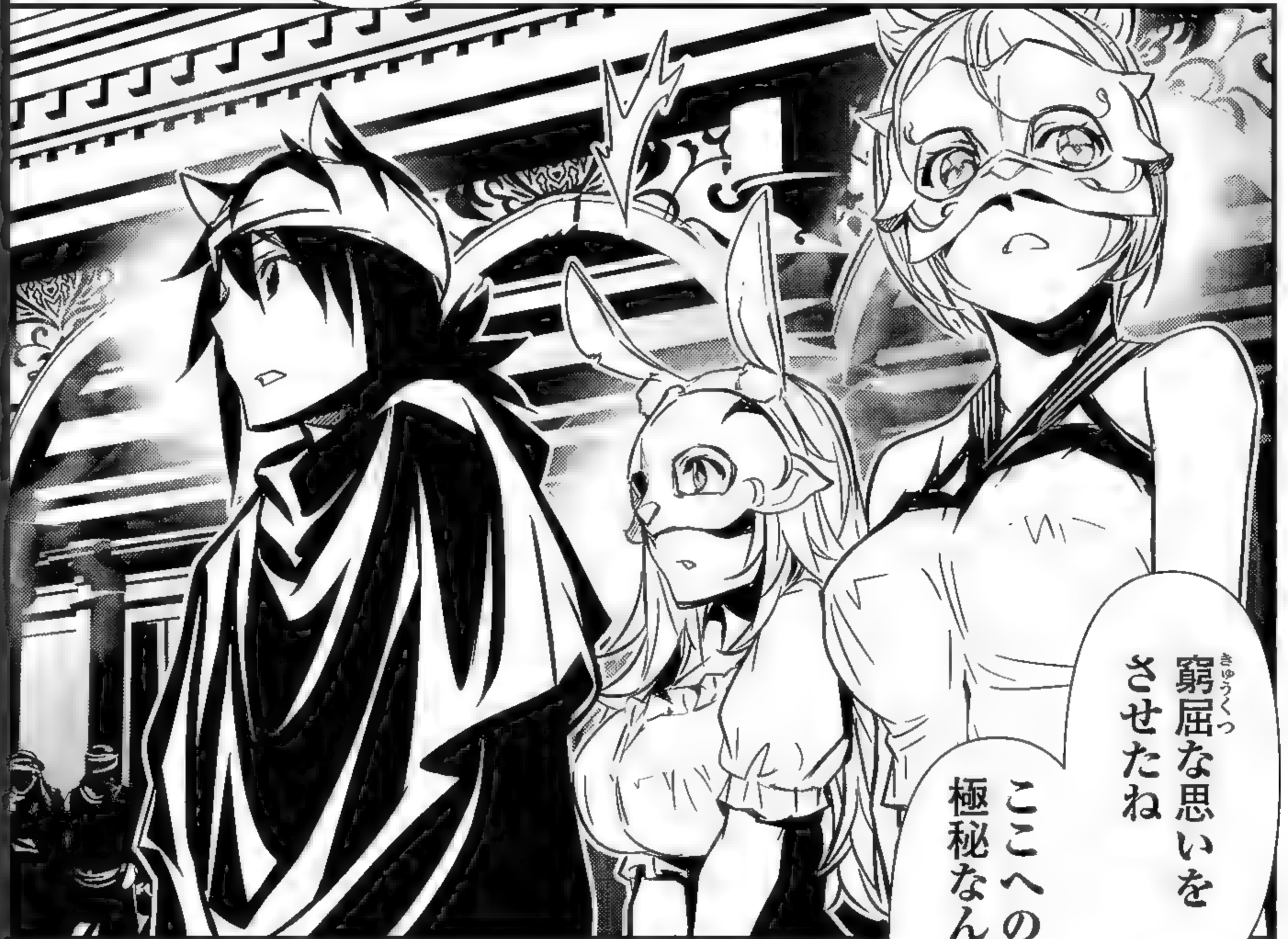
まずはその剣をしまって

座ってくれ

料理の途中なんだ
よければ食べて感想を聞かせてくれ

——話はその後だ

大丈夫そうね
部屋に戻りましょう
カイどうするつもりだろ？
さあ
でも必ずなんとかしてくれるわ
だってカイだから
……！
5日後——

目隠しを外してやれ

助手の二人もだ

窮屈な思いをさせたね

ここへのルートは極秘なんだ

承知してます

それでお願いした食材は？

全てそろっている

道具も厨房に搬入済みだ

これで準備はいいかね？
ええ
ヤムリカ女王陛下御出座です
バッ
ザッ
いよいよ女王陛下に謁見だ
シャラ
シャラ
ヒタ

ザッ

面を上げろ!!

ス

……!!?

スサ

今日の土産は料理人と聞いた

ギョ

ズン…

ギルーーー!!?

…ふむ
お前のように妾を楽しませてくれるとよいの

なあ
ギル

はい
我が君

第57話／裏切りの仮面

……‼

貴様が料理人だな

ギル…無事でよかった……

けどなんで王宮に⁉いったい何がどうなってるんだ⁉

俺はヤムリカ様を守るために在る
怪しい動きをすれば殺す
聞きたいけど知り合いだって知られるわけにはいかないし…
これは驚いた…
見事に飼い慣らしたものですね
女王陛下
妾に仕える拷問吏は優秀でのこの者の手にかかれば
ハサスとてこのとおりさ
ふふ…
のうゴドーよ
飼い慣らす……
ハッ
もしかして
拷問にかけられて洗脳された…!?

さてではあまり気が進まぬが…
〝珍しい料理〟とやら試してみるか
承知いたしました
──カイくんいいかね
ははい
色々気になるけどとにかくいまは料理だ
始めます！
フンッ
グイ

まったくもって不思議なもので――

ト…

ヤムリカ女王への親書を届ける密使として

がんばれ

ニヤ

ダーラと組んだ遊牧民(ノマド)が叛乱を起こしたシンシャールに来たおれは――

膠着状態に陥った籠城戦の最中

ダーラの将校ビクトリアスに料理の腕を買われ

いまヤムリカ女王に食事を振る舞うために目的地(王宮)に居る

ジャー…

ダシを取るには煮立てちゃだめだ
わかってるね？

二人は
言うまでもなく
シエラとネーヤだ

助手を連れて
来て良い
とのこと
だったので

ネーヤも
付いてくると
言ってきかず

万一に備えて
シエラに
頼んだところ

結局二人と
一緒に来ることに
なった

問題だったのは
シエラが
ヤムリカ女王と面識が
あったことだが

獣人には“目上の人に
会う際は種族の
仮面を付ける”
という古い礼儀（マナー）が
あるらしく

それを持ち出す
ことで事なきを得た

出来ました!!!
メニューはさんざん悩んだ挙げ句
ジュワァア
皆に評判のよかった鰯とラムのハンバーグをメインに
気候や手に入る材料が似ているトルコ料理を
和洋中なんでもアリの技法でアレンジしたものとなった
おお!! これは本当に美味しそうだ……!!
きっとご満足いただけるに違いない
早速女王に――

待て

その前に
俺が毒味する

キ

パク

!!

なんだ これは!!

毒が入っている!!!

ペッ

どく……？

えええええ――っ!!!?

貴様!!!
陛下を暗殺する気か!!

ちょまっ
そんなこと――

カイ!!

待ってくれ ギル！ そんな筈はない!!

だいたい なんで毒だと わかる!?

俺は世界中の毒を味見し

身体を慣らしている

痛っ!!!

間違いない

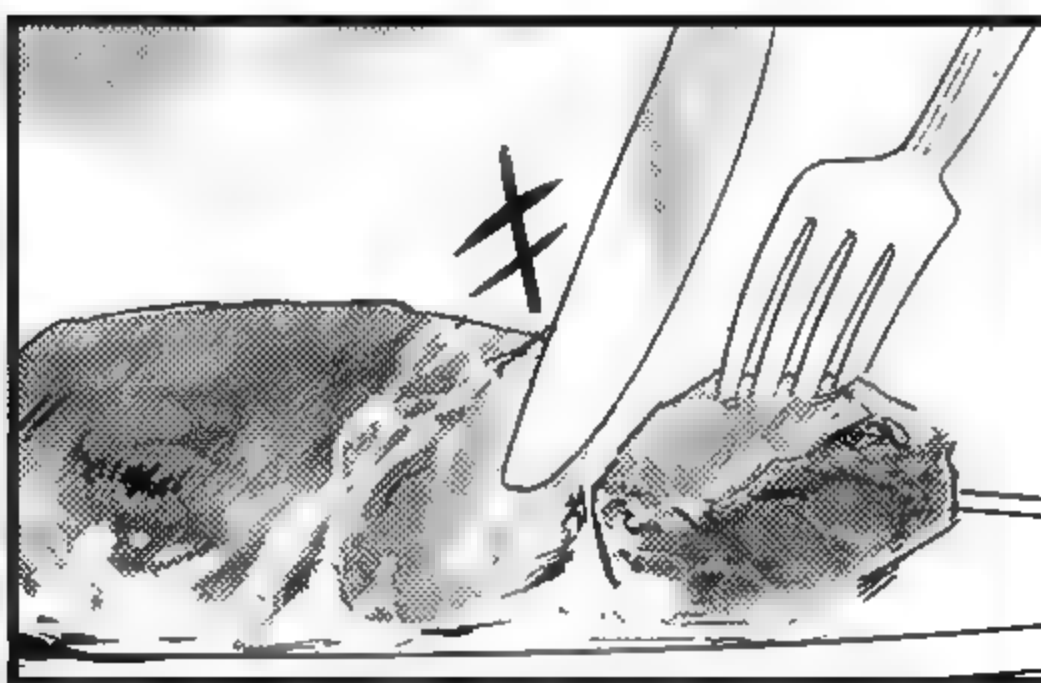
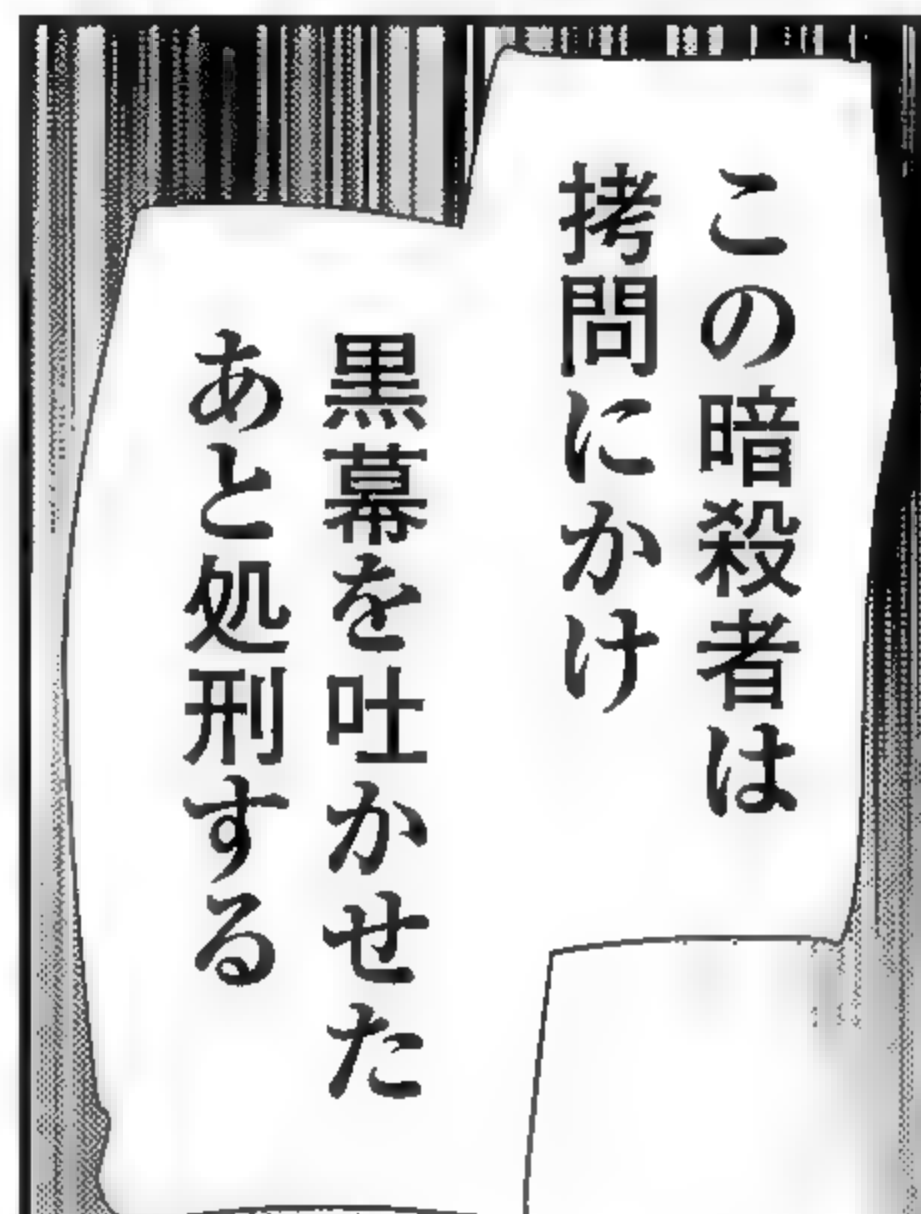
この男は陛下の毒殺を図った

だめ…!!

大人しくして… ネーヤ

ザカカ

これはダーラの差し金か…？

ザキ

違う!!

この暗殺者は拷問にかけ

黒幕を吐かせたあと処刑する

口では何とでも言えるがな

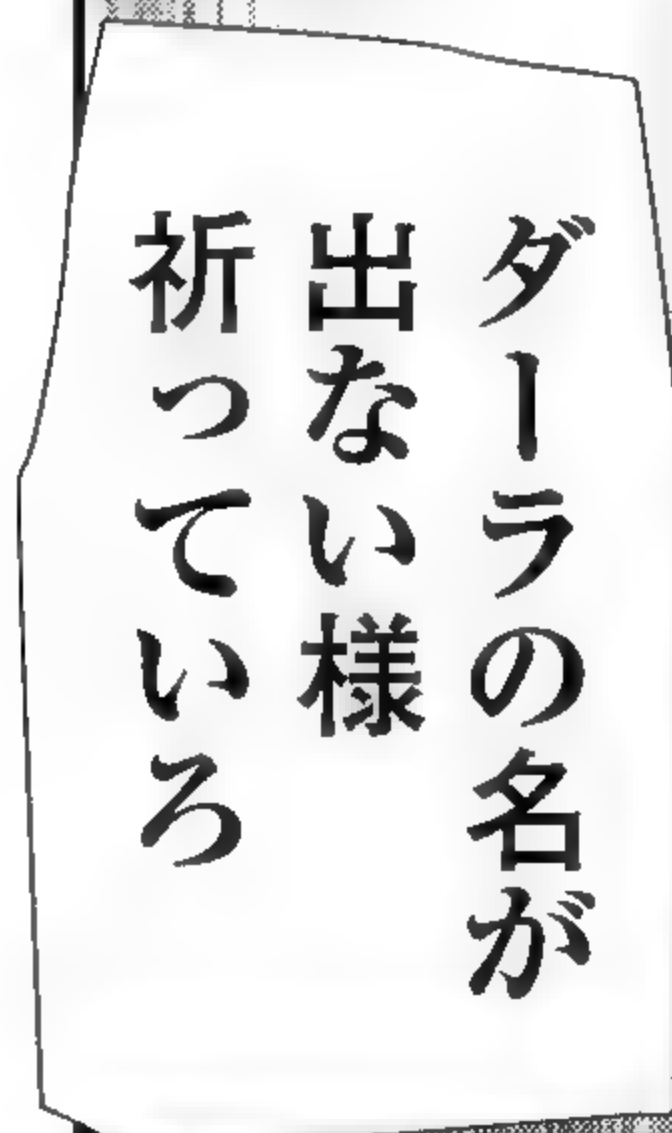
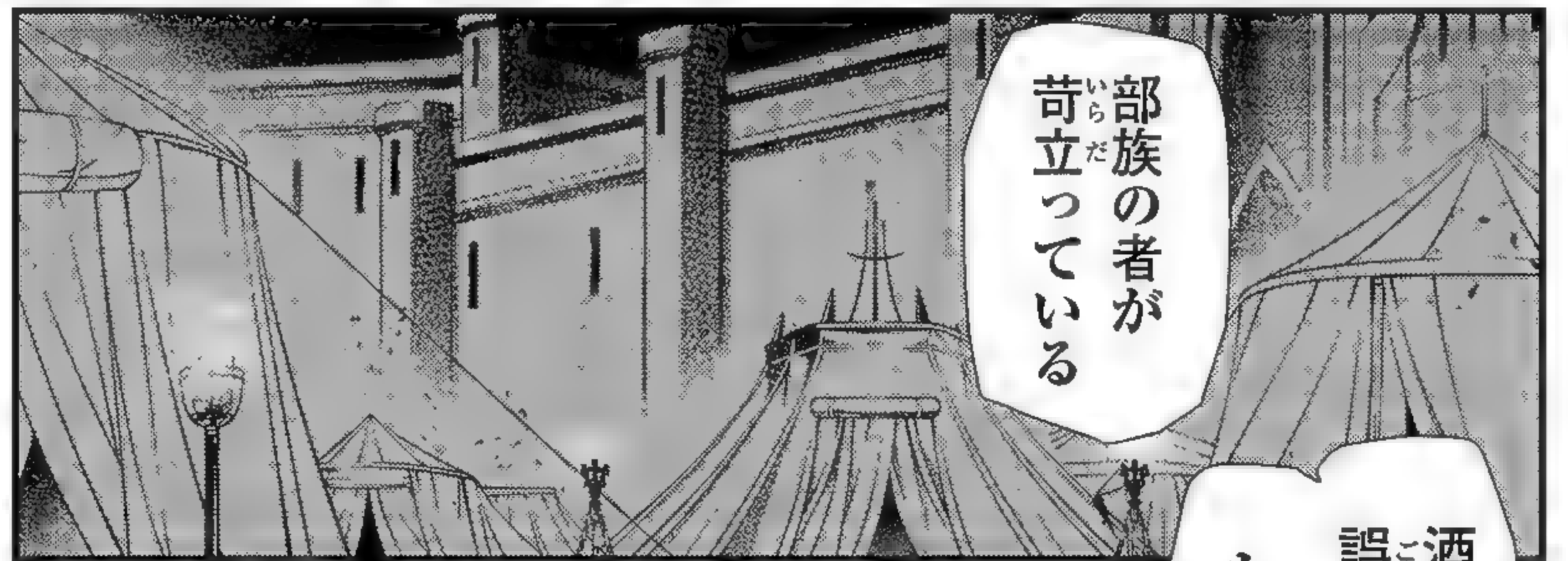
ダーラの名が出ない様祈っていろ

ドシャァァ
ドゴン
うわっ!!
ガシャン
この王宮の拷問吏は優秀だ
必ず黒幕を突き止めるだろう
ガッ…
えっ……!!

ええ————っ!!!?

部族の者が苛立っている

酒と女で誤魔化すのももう限界だ

定住者の商人どもに尻の毛まで毟られた連中もいる

だが鬱憤を解消するにも城壁はあまりに厚く そして高い

打って出るのは無謀以前の問題でしょう

わかっている!! だがな

ザバルに限らず次の祭りでラーフの妻となる筈だったアルディアを失ったことは

皆の怒りと動揺を生んでいるのだ

死体は出ていません 死んだと決まったわけでは…

そんな詭弁はもう要らん!! 皆が望んでいるのは血の贖いだ!!!

……もう止めるのも限界だ
我らは征く道を選ばねばならん
…………
…一体
なんなんだ…
もちろん料理に毒なんか入れてない
味にも自信があった
ギル……本当に拷問で洗脳されたのか？

いや……
だったとしても
なんであんな
嘘をつく……？

……拷問……

ザザ

カイ!!
聞こえる？

びくっ

バッ

ずーーんっ

シエラ？
カイ
神呪(しんじゅ)の力を使って！
そのために私を連れて来たんでしょ
…!!
グググ…

スルリ
ぷる
むに
シエラ…!!
むぎゅううう

スザ。。

イチかバチか……
賭けてみるしかないか……!!

ダダッ

ググ

ぐぬぬぬ…っ!!

ググ。。

んっ!!

何をしている!!

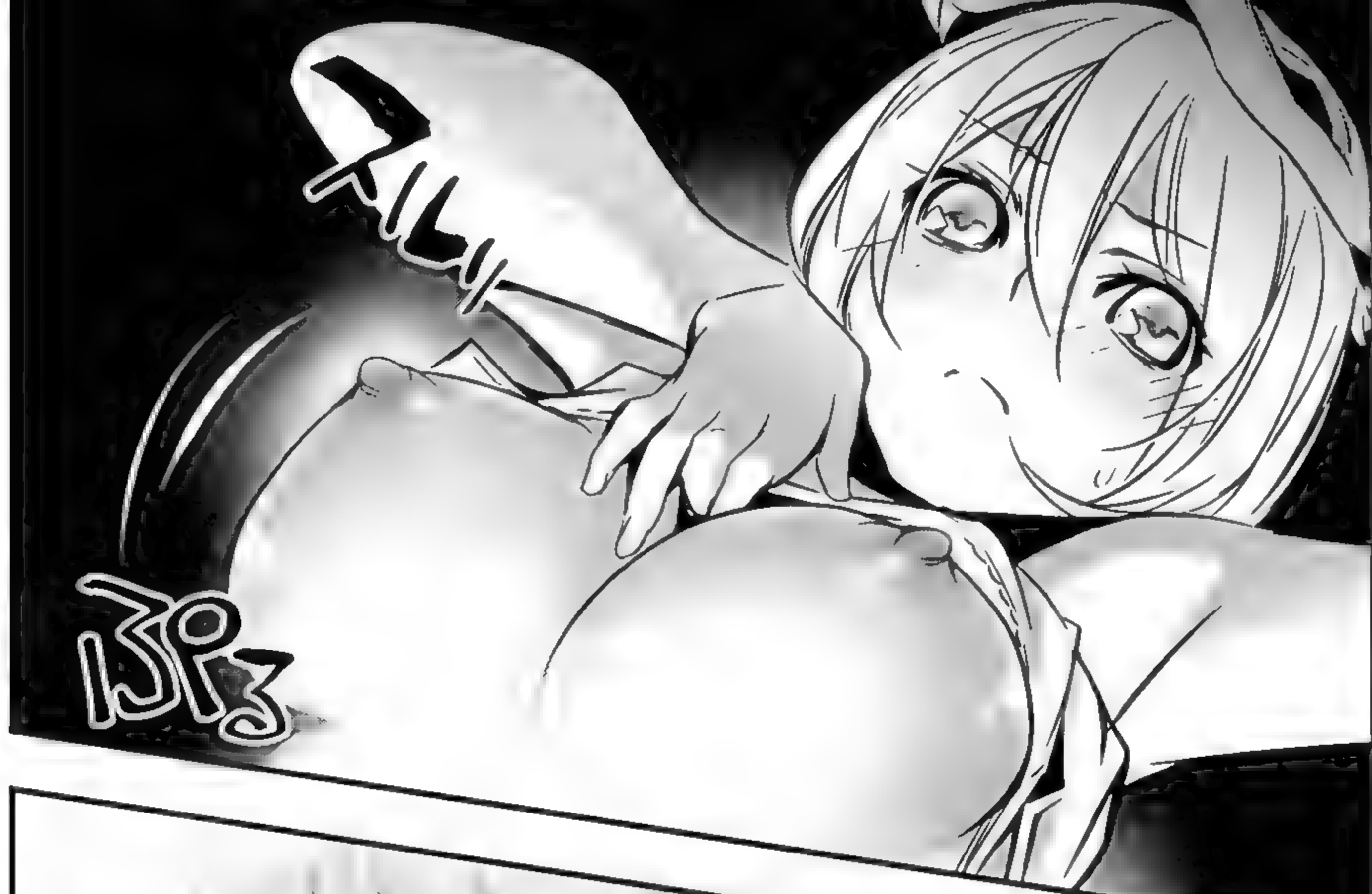
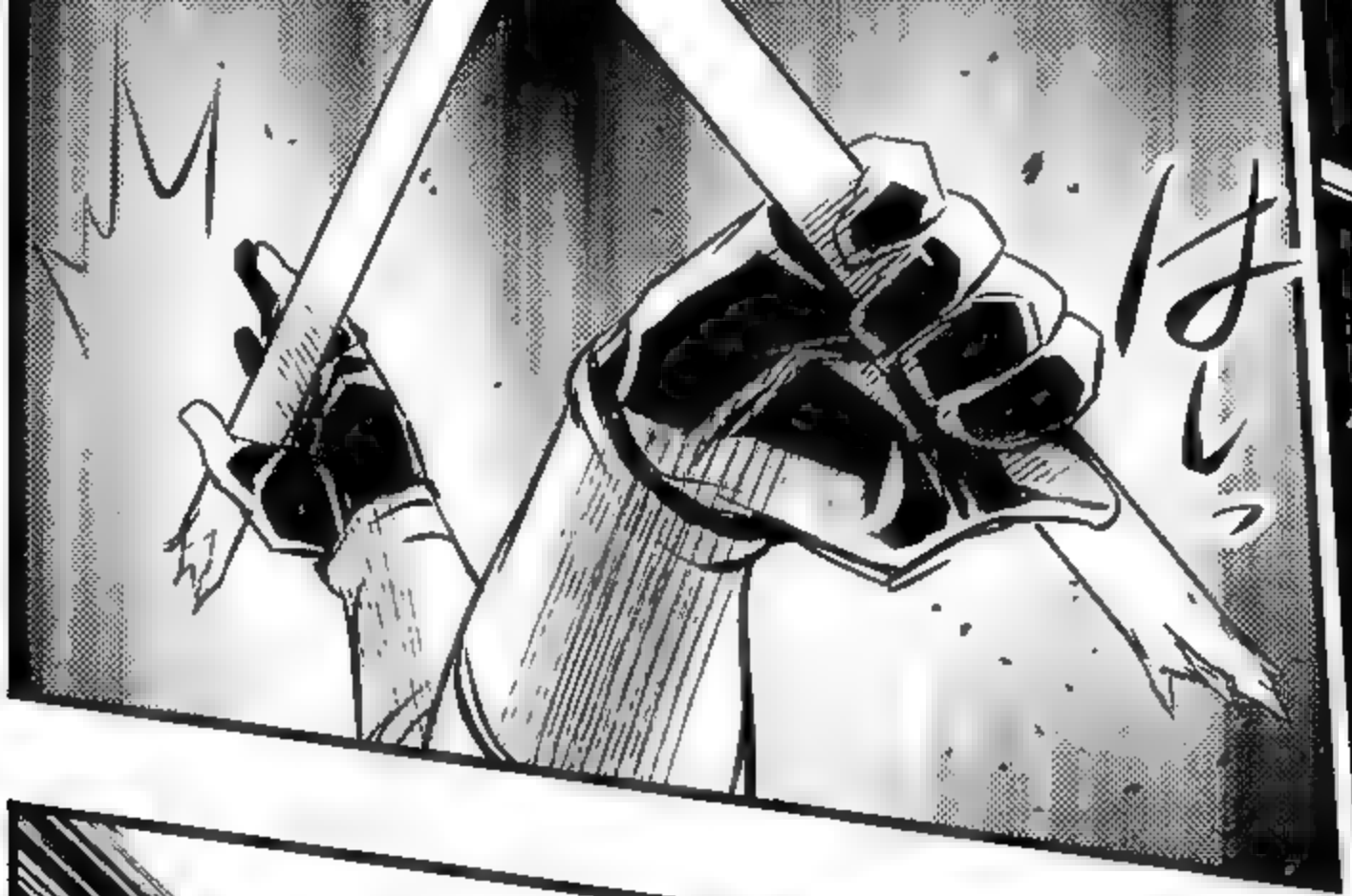
また空振り!?
ヤバッ…!!
うわっ!!
ふ ふざけた真似を…!!
お前たちは喋れさえすればどれだけ痛めつけても良いことになっているのだぞ!!
思い知らせてやる!!!

やれやれ…

相変わらず居るだけで厄災を招くのだな

主殿は

——ギル!?

はしっ

ズイ…
ドシャアア
お見事です
パチ…
ギル!?
いま〝主殿〟って…
拷問で洗脳
されたんじゃ…!?
あれは芝居だ
俺は相変わらず
俺のままだ
わが主殿

……!!

ギル殿
そう猶予はありません
お急ぎを

ギャラ

ああ 頼む

ギル
この人は…？

ガチャリ

説明はあとだ

だが信じて良い
いまは我らに力を貸してくれる

ゴドーと申します

ギィィ。

カイ!!
ガバ
…!!
しかし…ダーラの料理人として宮廷に忍び込んでくるとは
相変わらず突拍子もないな主殿は
ヤムリカのお気に入りになってたキミも相当だけどね
ギル

さて
とにかく
脱出だ

さすがに
もう
ヤムリカの
お守りは遠慮
したいしな

いや…
待っててくれ
ギル

？

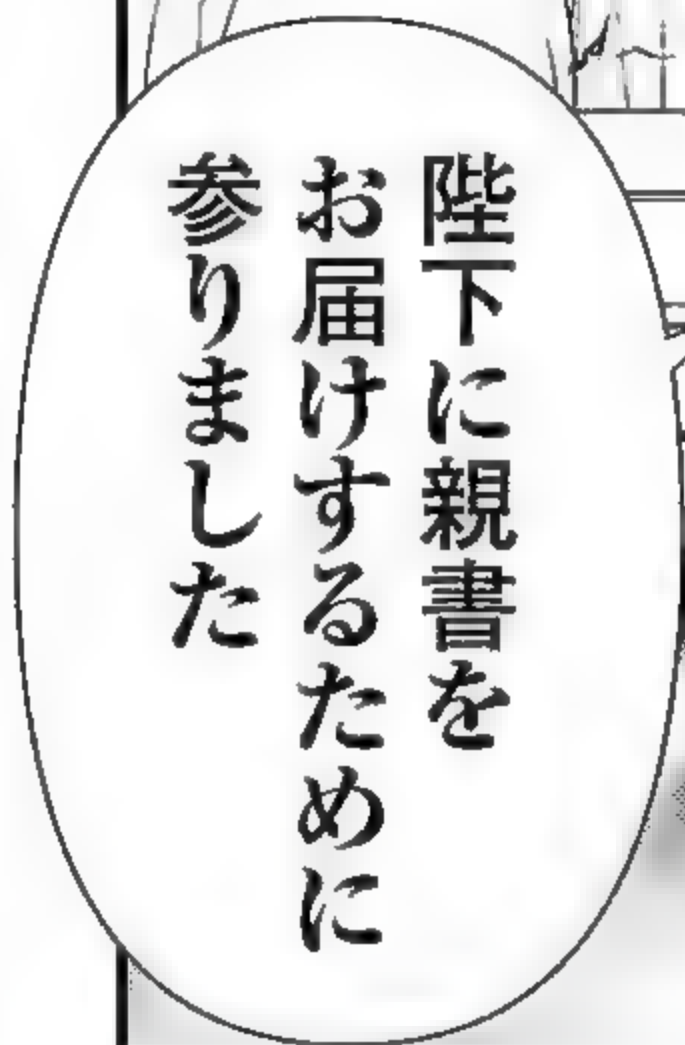
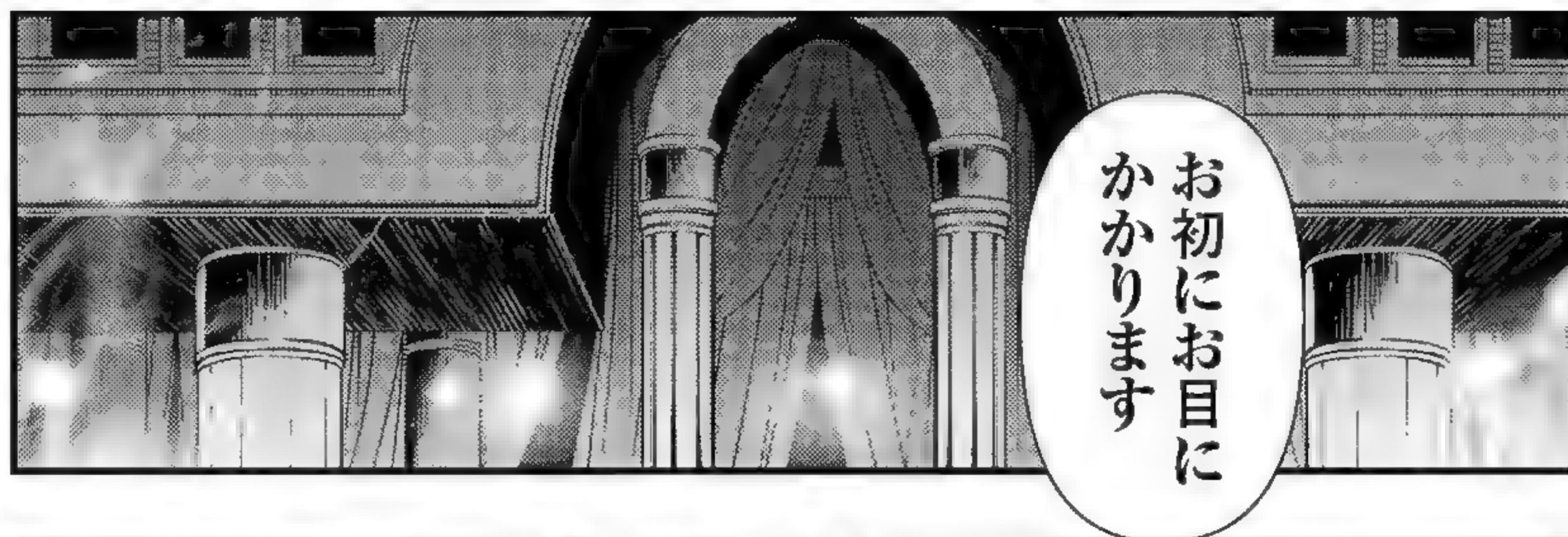
ようやく廻って
きたチャンスなんだ

君にはまだ
頼みたいことがある

!!?

お初にお目にかかります
此度(このたび)は
我が主君レザリアより
陛下に親書をお届けするために参りました

グレイ・エンフィールドと
申します

神呪世界紀行

【バルアラ宮殿】

三方を海と河に囲まれ、四方をさらに城壁で囲まれたシンシャール帝国の首都バルアラ。その中核となるのが、ヤムリカ女王の住まうバルアラ宮殿である。

そもそもは、遊牧民と海洋民族の交易都市として発展したバルアラだが、人口が増え豊かになるにつれ、度々外敵に狙われるようになり、防衛のために最外郭の城壁が築かれたのが城塞都市としての始まりである。そのため、王宮も建設された当時は戦時を想定した質実剛健なものであった。現在のように華美な装飾が施されていったのは、初代のマンスール朝が断絶し、ワルダーン朝が成立して後のことである。

しかし、戦闘要塞としての基礎部分は失われておらず、そのため地下を通る秘密の通路や隠し銃眼など、数々の仕掛けも残されている。

【シンシャール軍】

シンシャール帝国の建国には遊牧民が協力していた為、帝国初期の軍事は、そのほとんどを遊牧民に依っていた。近代的な常備軍が整備されたのは、ワルダーン朝以降のことであり、近衛と陸軍、海軍、また地方を管理する巡検使が配されることとなった。

だが、軍の指揮官クラスまで昇進できるのは基本的に貴族出身者に限られており、一般層出身の下級兵士は待遇などの面で大きく差がつけられているため両者の溝は大きく、シンシャール軍全体の弱体化を招いていると言われている。

Nectar
of divine
curse

第58話／女王との対峙

閣下!!

ダーラ共和国：
――首都レーム――

ブレド・レガン
閣下！
情報部より
急報です!!

ケーニヒ帝国が
華梁（かりょう）における
わが国の植民地への
侵攻作戦を間もなく
開始すると!!

ザッ

ダクリスか

情報源は？

ザッ

ケーニヒ軍に潜入している間諜(スパイ)が察知し
無線で連絡してきたそうです

やれやれ…
今日の元老院は荒れるな

老人たちの慌てる様子が目に浮かぶ…

戻ったらビクトリアスに無線で連絡を取る

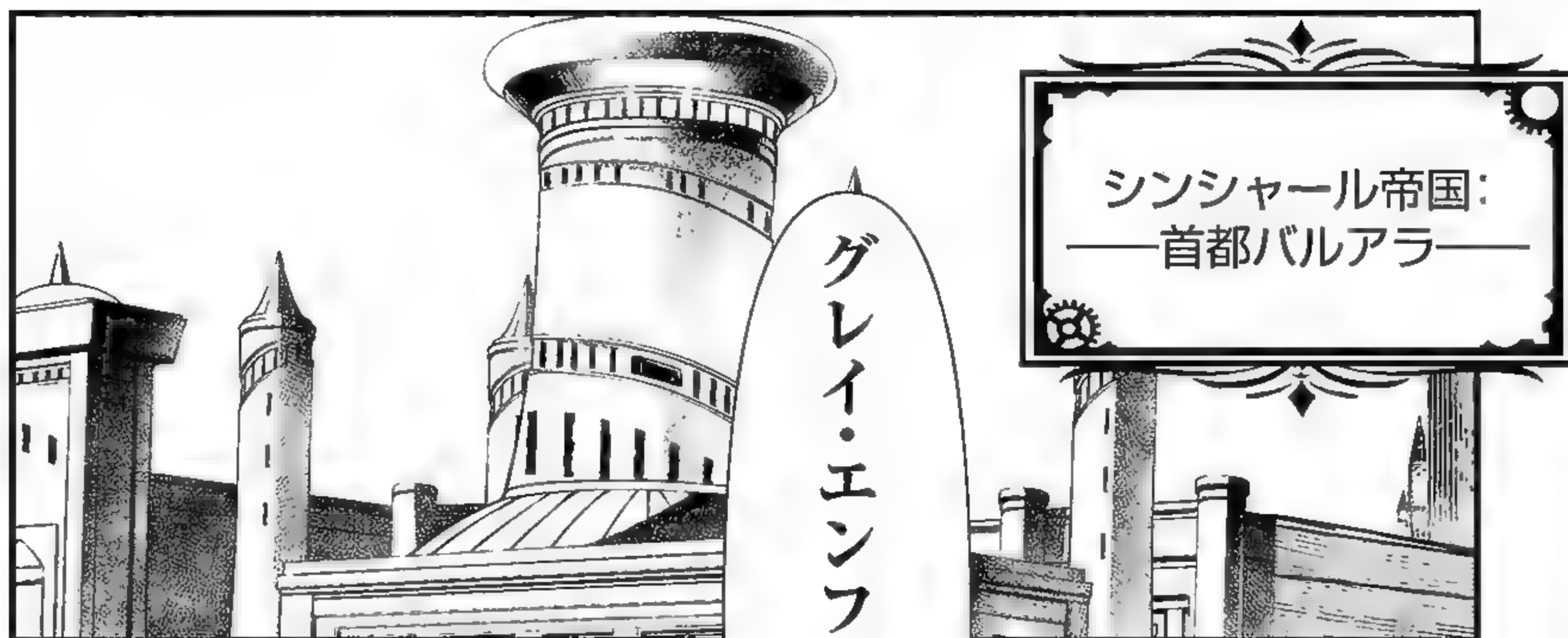
準備させておけ

パサ

は!!

バッ

シンシャール帝国：
──首都バルアラ──

グレイ・エンフィールド…！

さぁ
ここは賭けだ
女王はどう出る？

興味が勝つか
それとも衛兵を
呼ぶか──？

五分五分だが
おそらく衛兵は
呼ぶまい
興味が勝つ筈だ
ヤムリカ女王は
そういう人間だ
まったく…脱出
させるだけでも
一苦労だというのに
世話の焼ける
主殿だ
でもここで
王宮を出たら
また入るのは
至難の業だろう?
おれはそもそも
ヤムリカ女王に密書を
届けにきたんだからね
二重底か
用意のいいことだ
備えあれば　さ
ギル
パカ

君をここに
先乗りさせたの
だって
備えの一つだ
おかげでおれは
拷問にかけられずに
すんだしね
主殿は偶然と運に
頼り過ぎだ
俺とて
稀な出会いに
救われなければ
おそらく死んで
いたのだからな
そういえば
君はどうやって
拷問を逃れ
たんだい？
この者のおかげだ
ゴドーと
申します
ギル殿は
我が兄の
命の恩人なのです

兄は傭兵として
各国を転戦して
いました

ある戦場で
壊滅の憂き目に
遭いかけたとき

このギル殿に
部下共々
命を救われたのです

兄が何度も
語っていた
その命の恩人の姿——

美しい刺青の
紋様
瞳の色

どんな口調で語り
そしてどれほど
強かったか

ひと目で
わかりました

この方こそ
兄の恩人なのだと

さすがだね
ギル

任務上
必要だった
からだ

親切でやった
わけではない

理由は関係
ないよ

救われた者に
とっては
救われたという
事実そのものが
一番重要なんだ

だから今回も
君に感謝するよ
ギル

だから
言ってるだろう
俺は
任務でやっている
だけだと!!
グレイ…か
アルビオンの
狗だな
耳にしたことが
ある
ネレイドの独立にも
一役買ったそう
じゃな
なんでも
女の乳を吸うて
バケモノになるとか

つまらぬ噂じゃろうが
それほどに恐れられているということか
恐れ入ります
ぬけぬけと…
説明してもらうぞギル
なぜこんな男を引き入れた!!
陛下の御為です
妾の…？
俺と共にこの国に来た仲間がグレイ少佐と遭遇し陛下の利になりうる話を持っているらしいと知らせてきたので
ならばなぜ正面から来ぬ？

アルビオンの正式な使いなのだろう？

お言葉ですが…

籠城している現状

私が正面から門を叩いてはたして開かれたかどうか

万一を考え慎重を期しました

もっともらしいことを…

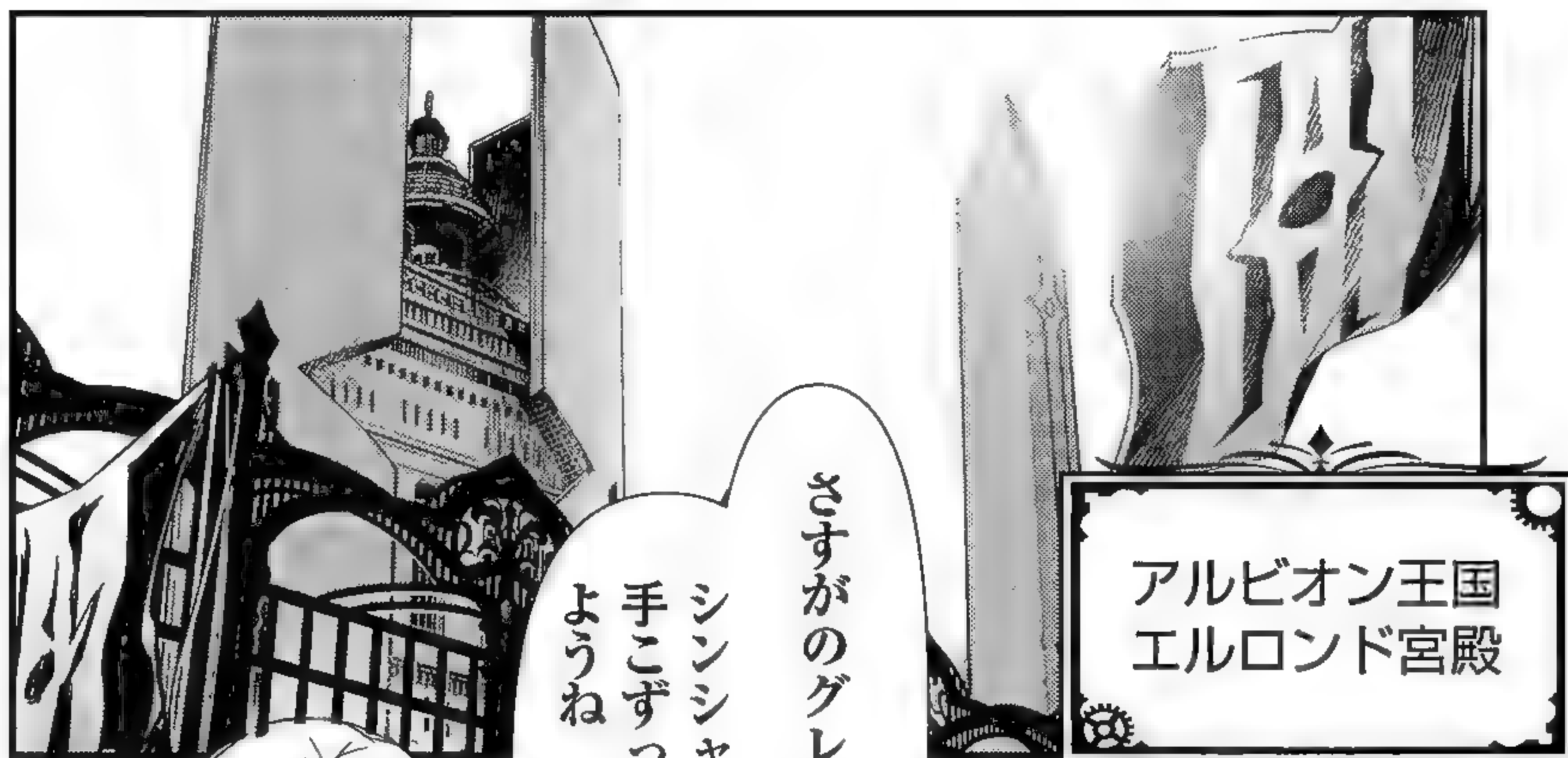
——よかろう

レザリアはいけ好かぬ女じゃが

書簡くらいなら目を通してやってもよい

寄越せ

こちらに

アルビオン王国
エルロンド宮殿
さすがのグレイ少佐も
シンシャールには手こずっているようね
ここしばらく状況は完全に膠着状態――
打開するには陛下の書簡が無事届くか否かが鍵ではあるのでしょうが…

こちらの提案を彼女が受け容れるかどうかはまた別の話ね
むー…
私は最善だと思うのだけれど
彼女にとっては屈辱でしょうから
まあ
それもグレイの腕次第でしょう
説得という名の詭弁はヤツの得意とするところですから
ふふ
信頼してるのね
彼のこと
ただ――
カチャ
未確定情報ですが
書簡の反応を待たずに情勢が大きく動く可能性も出て来ました
というと？

ケーニヒです
なにやら不穏な
動きがあると

……!!

リュカの屋敷

っっ

ふやっ
きゃうっ…!!

そこはだめです
サクラさま!!

むにゅ

にゅる

いいから
任せて
私はもう〃人魚の血〃の
影響も抜けたけど
あなたの怪我はまだ
完全じゃないでしょ？
でもサクラさまに
洗っていただく
なんて…
たぷん
むにゅん
んっふっふー
いつもドルネア
にはイロイロ
されちゃってる
から
今日は私が
イロイロして
あげる♡
ぶるんっ

ばちゃ
ふぁ…っ!! ほんとにサクラさまですか!?
シャクンティーラさまじゃ——
ひた
相変わらず仲がよろしいですね サクラさまとドルネアさまは
レージュさん!!
ケーニヒの問題で立て込んでいて… 僭越ですがご一緒させていただいてもよろしいですか?
はい!!

ケーニヒ帝国って
たしか…

ランドルールにある
新興国ですよね
ダーラと国境を
接してる

はい

長く分裂していた
ライゼン地方の
小国家群が

突如勃興した
ケーニヒ王国に
瞬く間に併合される
形で

わずか五年前に
成立した国です

ホントに若い国なんですね

ええ

ふぅ…

成立以来数年間は国内の平定に追われていましたが

最近になってついに外に目を向け始めたようなんです

リュカさまはその対応で忙しく動いてらして…

だからレージュさんも忙しいと

たぷん

あの
わたし…前から一度聞いてみたかったんですけど
いいですか？

私はお二人の教育係も兼ねてますので
なんなりと

リュカさまとレージュさんはじつは恋人どうしだったりするんですか!?

ざばっ

私も気になってました!!

なんか二人すっごくお似合いだって!!

わっ

それは――

ご想像にお任せします

ぶ――…

ふ……

はは……

あははは

ははは!!!

グレイとやら
書簡の内容は
知っておるのか?

いえ

私はただの
伝令なれば

ギ…

そうか…
では教えて
やろう

レザリアめ
この私に
逃げろと
言ってきおった

逃げろ…って
つまり——
亡命!!?
あの女ギツネめ
巫山戯おって!!
援軍を出す
知らせかと思えば
いまは妾に
一旦逃げろと!!
他国に亡命し
そこで亡命政権を
立てろと言って
きおったわ!!!
ゴシャ
我は
ヤムリカ・シャー・
シンシャール!!
悠久の砂漠を
統べる この
バルアラ宮こそ
我が王座!!

一歩たりとも動いてたまるか!!!
ギッ
ダァーン
ですよね〜〜〜
でもリュカ殿下とレザリアさんがおれにこれを託したということは…
我が主君のご無礼をお許し下さい
確かに無茶な話です
そもそもいまこの厳重な包囲から無事に陛下を脱出させることは容易ではないというのに…
レザリア陛下はそれすらわかっておられない
臣下として忸怩たる思いに駆られます

であろ？
まったく…無知蒙昧にも程がある
ですが——
籠城はもとより援軍があって初めて成立するもの
陛下には我らの他に援軍の心積もりがおありで？
問題ない
この城には一年は耐えられるだけの備蓄がある!!
ではその一年が過ぎたら？
結局は脱出することになるのでは？
やはり貴様も妾を侮辱するか!!!

滅相もございません

――ですが
結果が同じであれば
まだ余力のあるうちに
転身し
策を練り直す
のも一つの手と

そう申し上げて
いるのです

戯言を!!

そもそも脱出も
容易ではないと
言ったのは貴様
であろうが!!

では――

私には
それをなし得る
力がある
と申し上げたら?

何…!?

ス

さらに言えば
亡命先にも
心当たりが
ございます

……

!!

シエラ様

ポイ

バサササ

はい

ご無沙汰しております シャー・ヤムリカ
そなたは…!!
ネレイド王国のシエラでございます
こんなこともあろうかと
ご同道をお願いしておいたのです
ありがとうシエラ!!
アドリブに見事に反応してくれて!!
ネレイドを亡命先にせよと?
それだけではありません

先程の〝噂〟――
真偽のほどをご覧下さい

シエラ女王

お願いいたします

良いでしょう
グレイ少佐

……

そなたに
我が神呪の力を
授けます…

我らネレイアの守護神たるオケアノスよ……

この者に神の呪いを授けたまえ…!!!

!!?

ん…くっ…

ああ…

ああ——ッ!!!

……!!!

【シンシャールの食生活】

神代の遊牧民(ノマド)たちは、ヤギや羊の乳とその乳から作られる乳製品、少量の穀物、ナツメヤシに似た乾燥地帯でも生育する常緑樹の実などを主食としていた。それは長らく続き、現在でも遊牧民(ノマド)の食生活の基本的なスタイルとなっている。

一方、交易都市として発展した帝都バルアラでは、都市成立の最初期こそ遊牧民(ノマド)の食生活を踏襲していたが、やがて定住・農耕が開始され、大麦・小麦などの穀類や、海に面した立地からもたらされる魚介類などが食されるようになる。

また交易都市としての特性上、高価になりがちなスパイスなども比較的安価に手に入り、さらに世界各地からの商人によって様々な特産品や料理のレシピが持ち込まれ、バルアラは豊かな食を誇る都市になっていった。

遊郭である『花嫁の館』などは料理屋を併設するのが常であり、美しい花嫁と美味いメシ、旨い酒、がバルアラを訪れる人々の大きな楽しみとなっている。しかし一方で、各地からもたらされたメニューの豊富さ故か、シンシャール独自の名物と呼べるような料理が発展することはなく、交易商人たちからは「バルアラに旨いものあり。されど名物なし」などと言われてしまっている。

Nectar
of divine
curse

第59話／ダーラの策謀

ぷるん
たゆん
ふわっ…
ああ…
ラウラ…

お前はホントにいい〃花嫁〃だぜもうすぐお別れなのが残念でならねえ…

お別れ…？

ギシッ

ああ

こいつぁまだ極秘だがどうやらダーラ(うち)はシンシャールから手を引くらしい

ええ〜

ギッ

ふり

ふり

せっかくあなたとの〃初夜〃すっごくよくなってきたのにぃ〜

ずにゅ

可愛い事
言うじゃねえか

たっぷり愛して
やるからよ
今回の〝結婚〟は
〝慰謝料〟も
弾んでやるぜ

ずん

がばっ

あん…♡

ちょっと

噂で聞いたん
だけどさ
あれホント？

あ？
何がだ？

実はダーラが——

——って噂だぜ

ち…

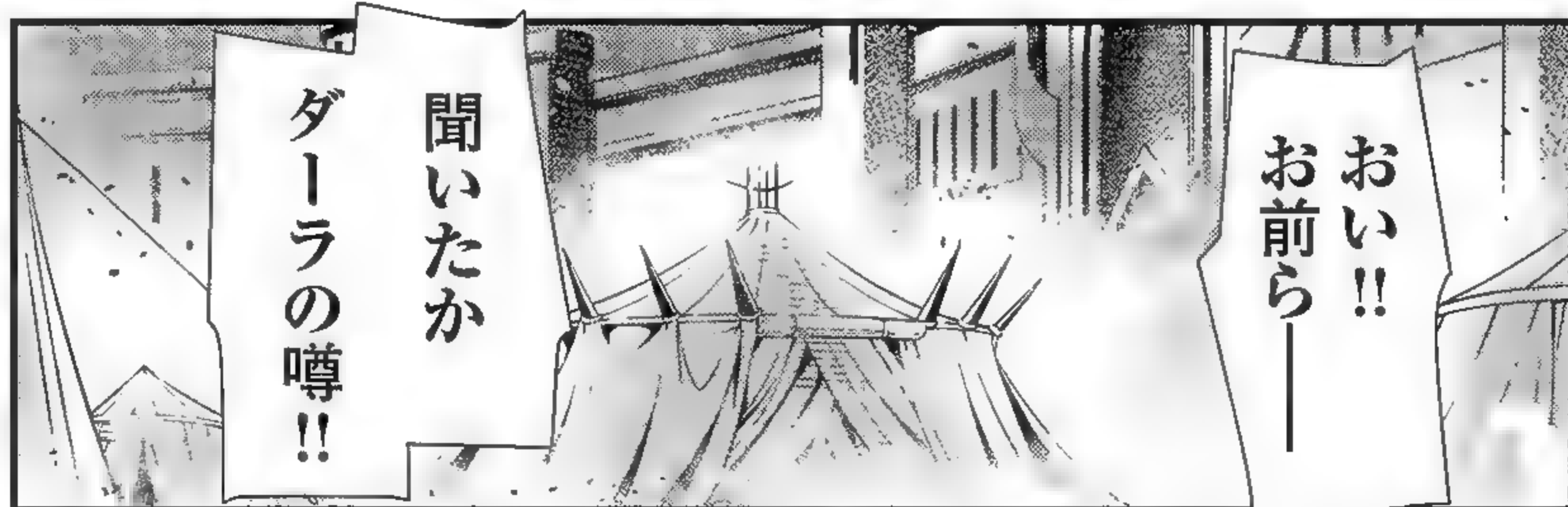
ツケの回収
急がんとな

さて

ツケがどうのと
そんな呑気な話で
済めばいいがの

おい!!
お前ら――

聞いたか
ダーラの噂!!

バサッ

怒鳴るな ガマル

撤退の件
だろう

我々もいま
ちょうど
話し合っていた
ところよ

じゃあ
やっぱり
マジなのか!?

奴らが退くってのは!!

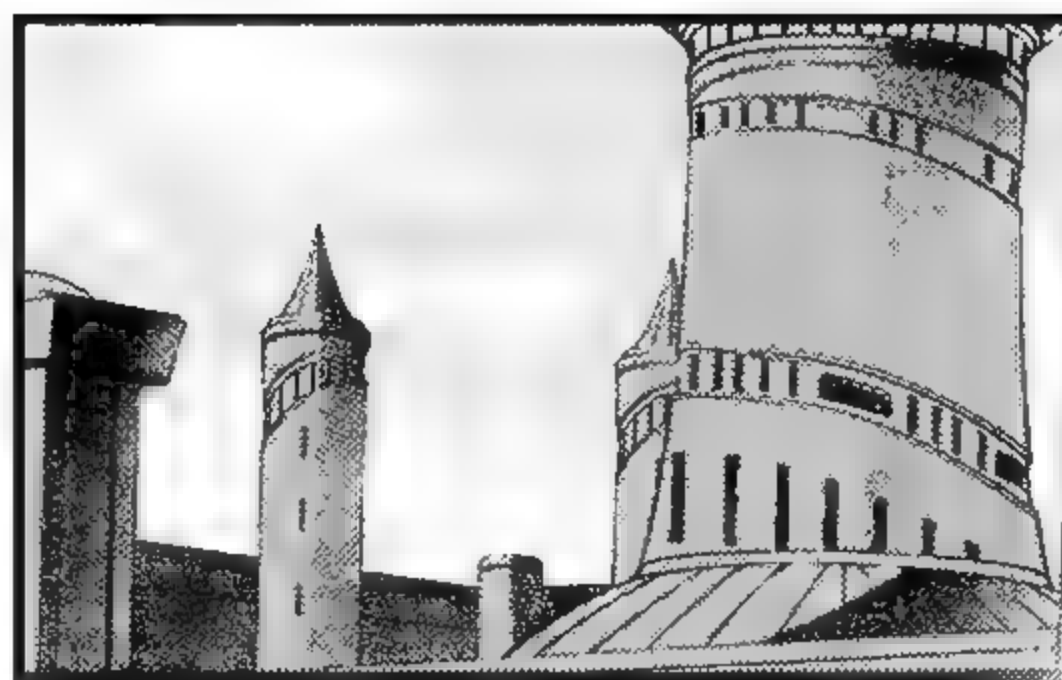
これだけあちこちから入ってくる以上はほぼ確定だろう

聞けば華梁がなにやらキナ臭くなっているそうだ

そのあおりかもしれん

くそっ…!!どうするんだザゼル翁!!?

ダーラが退いたらもう包囲は成立しなくなるぞ!!?

…………

…おお!! これは!!!
素晴らしいバケモノっぷりではないか!!

何事ですか陛下!!?

!!?

曲者(くせもの)っ!?

待ちなさい
彼は――

曲者じゃ

ちょうどいい
神呪(しんじゅ)の力とやら
見せてもらおうか

兵は殺しても
かまわんぞ

な…

お前達も
死にたくなければ
本気でかかれ

やれッ!!!
!!?

ガッ!!?

うわぁっ!!

!!!

ズシャアア

………

シュウウ…

シュウウウウ…

我が神呪の力
…ご納得
いただけましたか？

なんと…

これが
あなた程の人が
グレイ少佐に
お仕えしている
理由ですか

理由の全て
ではない

…が
一部であることは
確かだ

変身した…？

なに？
なにが
おこってるの？

シエラ姉様は
お姫様…？

カイも
ほんとは
グレイっていうの
…？

好いぞ!!

その神呪の
力とやら!!

ネレイドごときの
姫でそれじゃ

もしや
そなた…

ふむ…好いな…

シンシャールの王
たる我が乳を
吸えばより強い
バケモノになる
のではないか!!?

ど――ん!!

なっ

ブハッ

いっ
いえ…
ヤムリカ様の乳など
その…畏（おそ）れ多すぎ
ます!!

神呪の力は
神妃（アンブロシア）と呼ばれる

神の呪いを
受け継いだ女性の
呪乳（ネクタール）によってのみ
生じるものですので
……

妾（わらわ）では
不服だと
いうのか!?

そっ
そういう
わけでは…

神妃（アンブロシア）…?

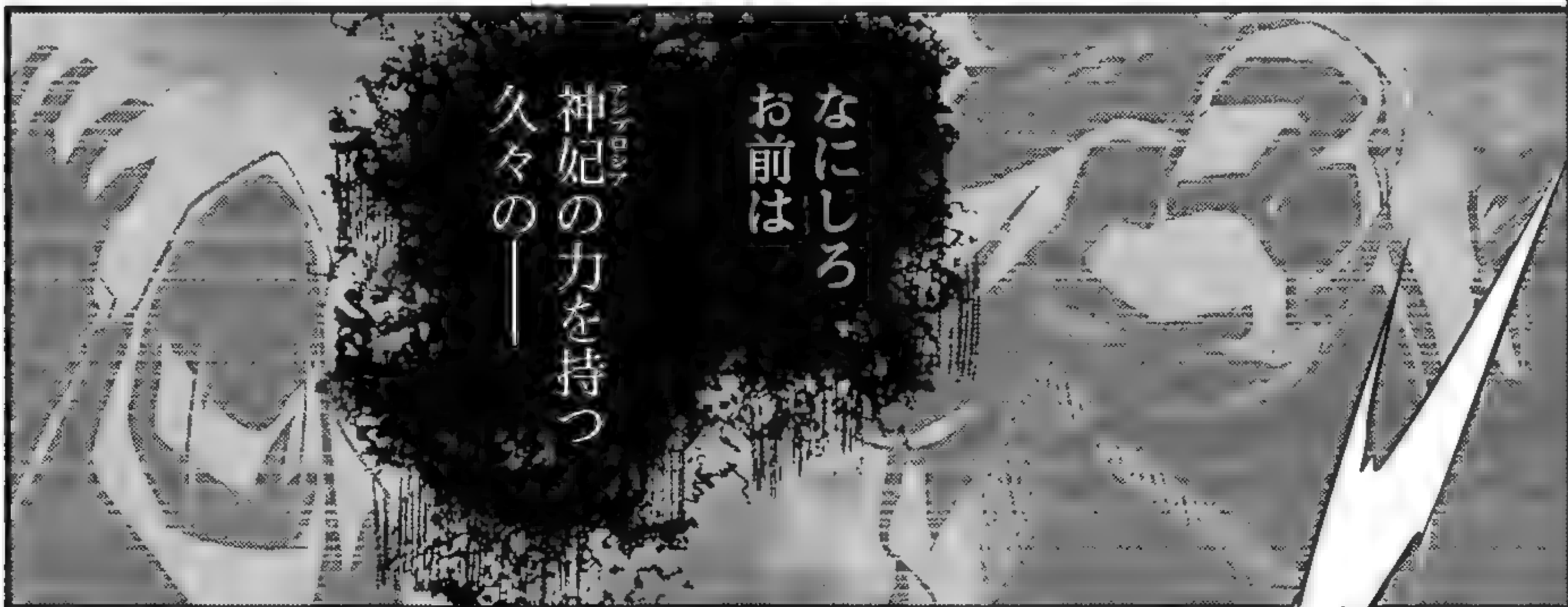
…ディアよ
次のラーブ大祭
お前に〝花嫁〟を
務めて貰うからな

なにしろ
お前は
神妃の力を持つ
久々の——

ズキィィン

いまのなに…!?

グラ…

カランッ

わたし
どうして
そんな話を…？

四の五の言わず試してみればよかろうに

…何となれば

そのままがっぷりと味見してやってもよいのだぞ

グレイ少佐よ

…ヤムリカ様!!

めっ

めっそうもありません

――

折角（せっかく）のお誘い

試してみてはいかがです？
貴方の伝説にさらに箔が付きますよ
!!!
その仮面…噂に聞くグレイ・エンフィールド少佐ですね？
初めましてダーラ共和国軍所属エドゥ・ビクトリアス大尉です

いかにも

自分は
グレイ・エンフィールド
です

いつかまみえる
こともあるかと
思っておりました
が…まさかいま
ここで
とは

運命とは
異なものですね

まことに

不躾じゃなビクトリアス
妾はこの者と面会していたのだぞ

無礼はご容赦を

急ぎお伝えせねばならぬことができましたので
こうして参りました

急ぎじゃと？

はい

元老院より下命があり

我が軍はシンシャールより撤退することとなりました

詳しくは
言えませんが
…別の地域で
我が国にとって
看過出来ぬ
動きがあり――

!!?

私を含めた
ローレンシア
中央作戦部は

そちらに
振り向けられる
ことになりました

がばっ

それはまことか!?

はい

残念ながら

何が残念なものか…!!
聞いたかグレイ!!
よくも妾に亡命など勧めおったな!!
亡命?
なるほど…!!
ダーラさえいなくなれば
遊牧民どもなど烏合の衆同然!!
またたく間に蹴散らし
今度こそ完膚なきまでに駆逐してくれるわ!!
がばっ
それは…どうでしょう

なんじゃと？

私もそれは難しいかと思います

貴殿もやはり…そう思われますか グレイ少佐

ええ ビクトリアス大尉

なにを勝手にわかりあっているのじゃ!!

…陛下

おそらく貴女(あなた)はご存じないのでしょう

何をじゃ!!?

いまの貴国の軍の在り様を

なにぃ!?

ビュウウ…
バルアラ第二城郭内
シンシャール軍兵営
またこれっぽっちか…
カチャ
籠城のまっ最中だからって

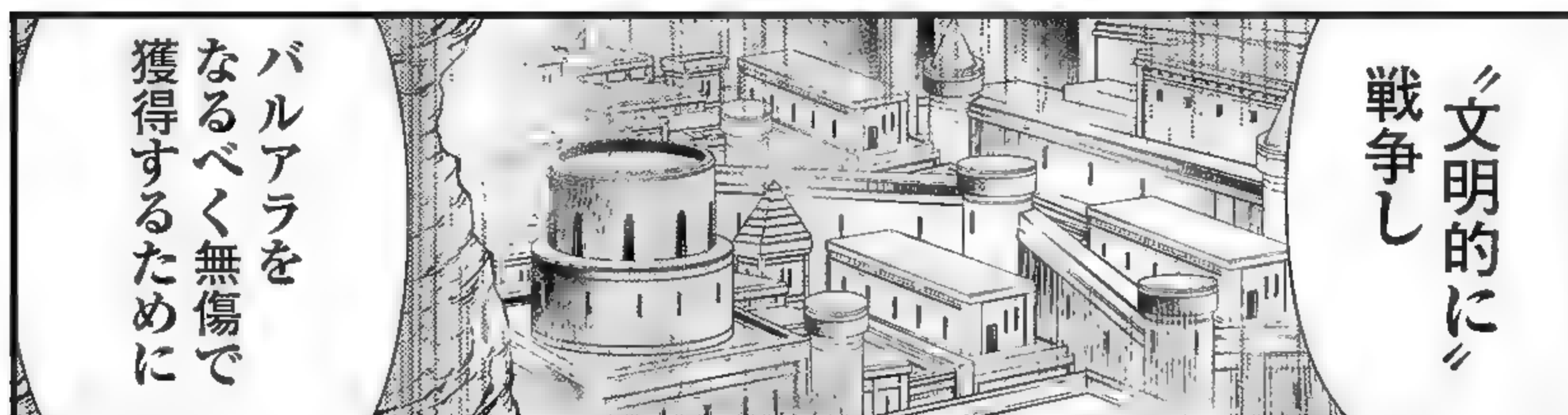
はぁー…
一日にこれだけじゃ死んじまう…
やってらんねえよ
どうせあのブタ女はたらふく喰ってやがるんだ
おおい
聞いたか!?
バン
街はダーラが撤退するとの噂で持ちきりらしいぜ!?
ガタ
マジかよ!!
じゃあ籠城がやっと終わるのか!?
いや…こりゃヤベェぞ
!?

できるだけ無傷でこの都が欲しいから
ダーラは遊牧民（ノマド）を抑えて
都を壊したり略奪や虐殺をさせなかったんだ
でもダーラがいなくなったら――
遊牧民（ノマド）はお構いなしに俺たちを殺しに来るぞ!!!
!!!
では…グレイたちの話は事実だというのか…!?
は
近衛はまだマシですが

末端の兵には
俸給はもちろん
食料も充分には
与えることができず…
残念ながら
士気は最悪
と言わざるを
えません…
なぜ
報告せぬ!!
あっ
言えるわけ
なかろうが…!!!
諫言すれば
誰だろうと
懲罰にかけてきた
王になど…!!
ギッ
陛下
いまこの者の
責任を追及
しても意味は
ありません

それよりも早急な決断が必要となるでしょう

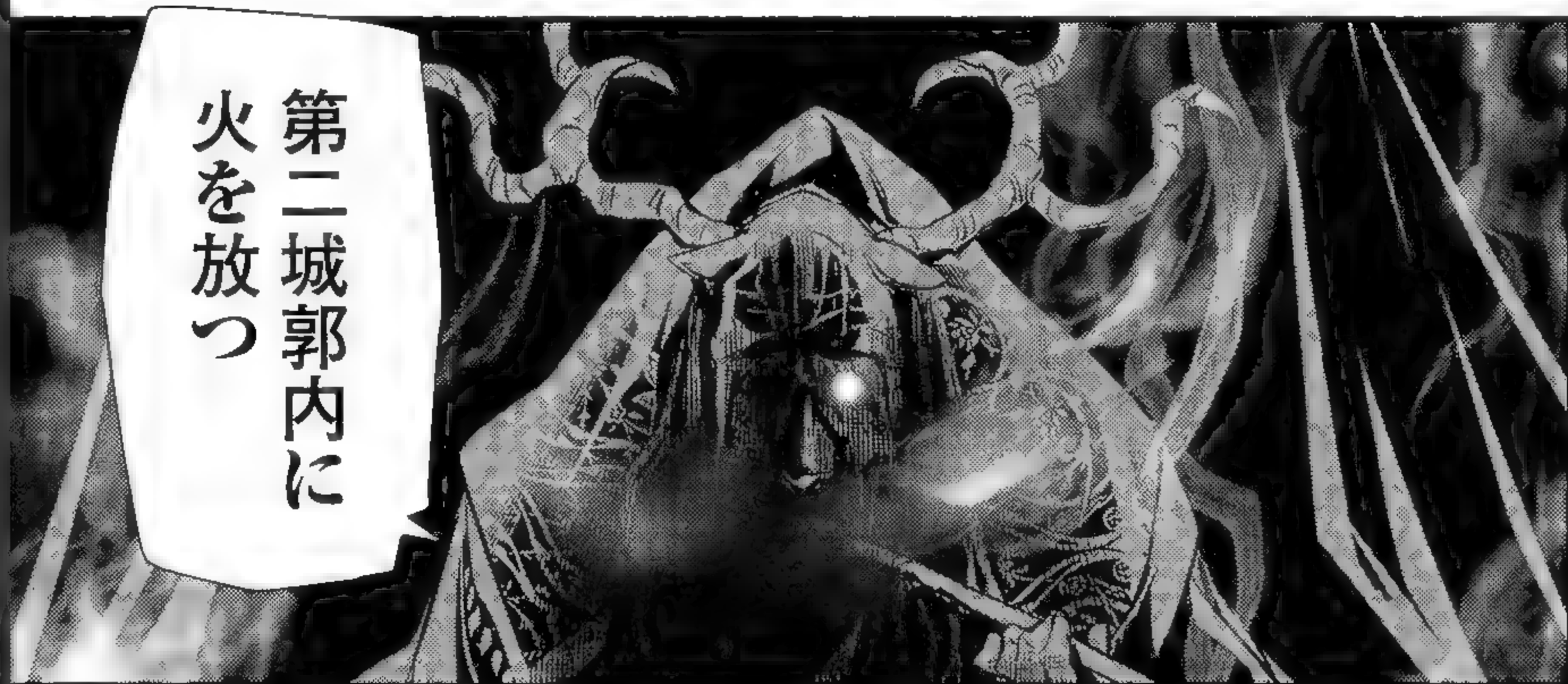
何じゃと？

我々ダーラは必死で遊牧民(ノマド)を抑えてきました

〝文明的に〟戦争し

バルアラをなるべく無傷で獲得するために

その抑えがなくなったとき何が起こるか

それは——

純粋な破壊と暴力です

第二城郭内に火を放つ

もはや我慢も手加減も不要…

我らは

我らのやり方で

砂漠の民の誇りを取り戻すだけのこと

おお…!!!

おそらく彼らはもう
バルアラを灰燼に帰し
市民を虐殺することも躊躇わないでしょう
なっ…!!!

そんなのだめっ!!!
!!!
貴女は――!!

アルディア姫…!!?

『神呪のネクタール』第⑬巻／完

あとがき

前巻から数ヶ月のご無沙汰です。
『神呪のネクタール』第13巻、手にしていただき本当にありがとうございます!

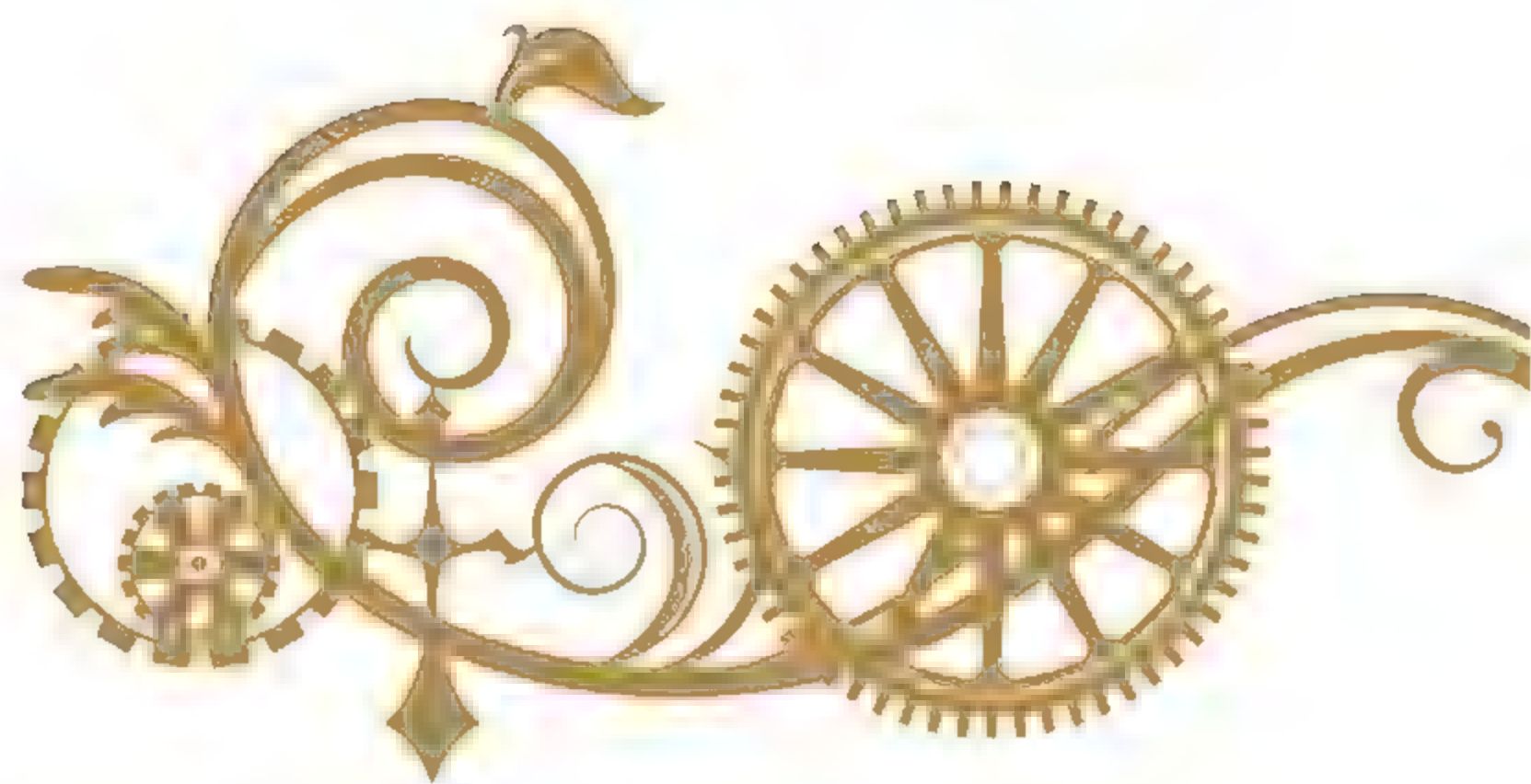
×　×　×

先日、嬉しいことがありました。一緒に仕事をしているアニメ監督さんのところに、お子さんが産まれたのです。自分のことは棚にあげて(笑)、私の尊敬する人や好きな人に限って、独身だったり結婚されていてもお子さんがいなかったりという場合が多いので、こういう報せはほっこりと嬉しく、「これなら未来に課金しがいがある(訳:税金の払い甲斐がある)」と、納付書の額面を見たときの憂鬱さがいくぶんでも和らぐというものです。

×　×　×

と、そんな幸せな報せだけ聞いていたいのですが、残念ながら現実はそうはいきません。このあとがきを書いている今も、信じられないような憂鬱なニュースが次々押し寄せてきています。
——ですから、せめて、物語の中でだけは。
どれだけ辛い展開があろうと、最後はスカッと気持ちよく、幸せな結末が見たい。そんな思いを込めて、物語を書き続けております。
というわけで、次巻、ついにシンシャール編が完結です!(…多分!)
気持ちよいラストをお約束しますので、引き続き応援の程、何卒、よろしくお願いいたします!

如月某日　吉野弘幸

Nectar
of divine
curse

カイ、女王との対決!?

記憶を失った
アルディアとともに、
シンシャール王宮に潜入したカイ。
暴虐を振るうヤムリカ女王と対峙し、
遊牧民（ノマド）と定住民（ハダル）との戦闘をやめるよう
進言するが…。カイとアルディアは、
虐殺を止められるのか!?

神呪(しんじゅ)のネクタール

13

原作◆吉野弘幸
漫画◆佐藤健悦

Champion RED Comics
RED

Champion RED Comics
RED
チャンピオンRED
コミックス

神呪(しんじゅ)のネクタール⑬

2022年5月1日　初版発行

著　者　吉野弘幸(よしのひろゆき)・作
©HIROYUKI YOSHINO 2022
佐藤健悦(さとうけんえつ)・画
©KENETSU SATO 2022

発行者　石井健太朗
発行所　株式会社 秋田書店
〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03) 3265-1326　販売(03) 3264-7248
製作(03) 3265-7373
振替口座　00130-0-99353

印刷所　大日本印刷株式会社
Printed in Japan

ISBN978-4-253-32003-0

デジタル版　2022年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com